



社会福祉法人
あおば厚生福祉会
Aoba Welfare

令和6年度事業報告書

目 次

介護事業部事業報告

【特別養護老人ホーム 茂庭台あおばの杜・中野あおばの杜】

・・・・・・・・ P1

【ふくろうケアプランセンター茂庭台】 ・・・・・・・・ P21

保育事業部事業報告

【富沢南なないろ保育園】 ・・・・・・・・ P22

【鹿野なないろ保育園】 ・・・・・・・・ P29

【榴岡なないろ保育園】 ・・・・・・・・ P37

【中田なないろ保育園】 ・・・・・・・・ P45

介護事業部事業報告

【特別養護老人ホーム 茂庭台あおばの杜・中野あおばの杜】

I. 当年度の主な活動

介 護 課

「茂庭台あおばの杜」

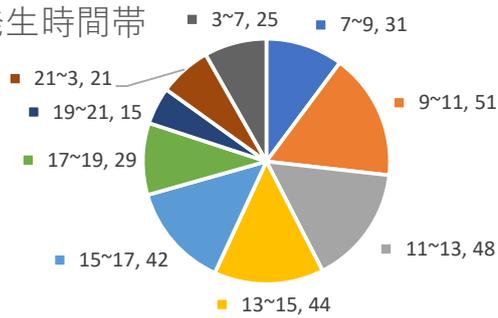
1. 排泄支援の質の向上・褥瘡予防・コスト削減等の観点から、利用者様一人一人に合ったアイテムの変更、オムツ交換時間の検討をユニット単位で行い、利用者様の皮膚トラブルの減少、排泄環境の見直し、職員の負担軽減に向け取り組みを行いました。オムツ交換時間を見直したことで、交換回数の減少、利用者様の睡眠時間の確保が出来たことで、職員のオムツ交換の負担軽減、利用者様一人一人と関わる時間の増加に繋げることが出来ております。また、オムツ・パット類の使用率や発注環境の見直しを随時行い、コスト削減を意識し取り組んでおります。その他、白十字のオムツ研修も取り入れることで、オムツ・パット類の特性の理解に努め、排泄支援への理解、介護技術の向上につながり職員一人ひとりが意識することで利用者様へのケアの見直しができ、排泄ケアの意識向上につながっています。
2. 利用者様の日頃の状態把握と身体の変化を常に「見る」を意識することで、未然に事故発生の防止に努めました。多職種とのカンファレンスやミーティング等を活用し、利用者様一人一人の状態の確認、ヒヤリハットの分析を行い、対策の検討・実施を行っております。事故発生時には、報告、連絡、相談が速やかにできるよう、意識づけを徹底し、事故防止対策を多職種と連携しミーティングや会議を行い、迅速に対応できるよう努めております。
3. 中野あおばの杜との施設間では、両施設の夏祭り等のイベントにて互いに協力体制を取ることによって、円滑にイベントを進められるよう協力を行っております。イベント前には情報共有を行い、利用者様が楽しめる行事企画が実施できるよう取り組んでおります。その他、施設間での主任同士の意見交換や応援協力の実施を行い、互いに質の向上が図れるよう努めております。
中野あおばの杜との連携を強化し、職員の意識・質の向上、利用者様へのより良いケアを反映できるよう、継続して取り組みを行ってまいります。

茂庭台あおばの杜 事故・ヒヤリ分析図

茂庭台あおばの杜 事故分析図(令和6年度)

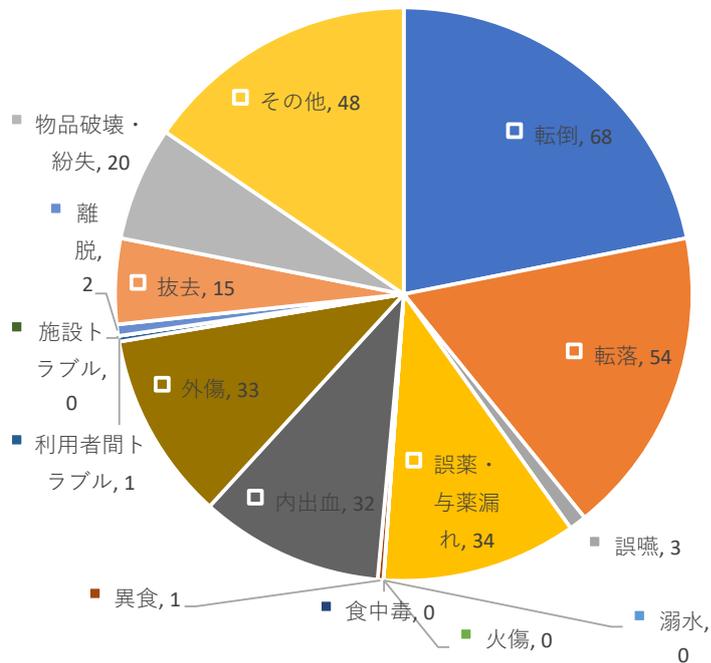
時間	件数
7~9	31
9~11	51
11~13	48
13~15	44
15~17	42
17~19	29
19~21	15
21~3	21
3~7	25

事故発生時間帯



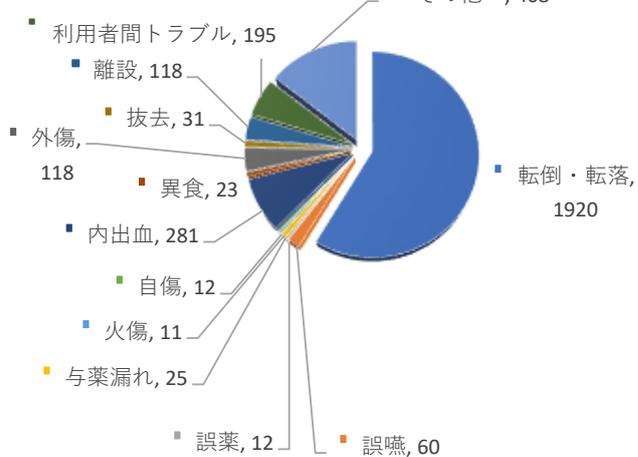
事故種別	件数
転倒	68
転落	54
誤嚥	3
誤薬・与薬漏れ	34
溺水	0
火傷	0
食中毒	0
異食	1
内出血	32
外傷	33
利用者間トラブル	1
施設トラブル	0
離脱	2
抜去	15
物品破壊・紛失	20
その他	48
合計	311

事故件数



ヒヤリ種別	件数
転倒・転落	1920
誤嚥	60
誤薬	12
与薬漏れ	25
火傷	11
自傷	12
内出血	281
異食	23
外傷	118
抜去	31
離設	118
利用者間トラブル	195
その他	468
合計	3473

ヒヤリハット件数



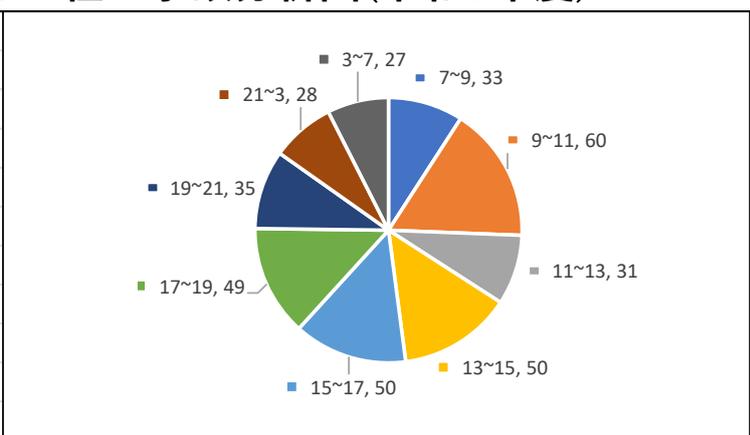
「中野あおばの杜」

1. 令和6年度は介護職員が利用者様の有する能力に応じ、心身状況や状態変化を察知しその都度ユニットミーティングや他部署も含めたカンファレンスを実施し日々変化する状況へのケア改善、支援の向上に努めました。
2. 新型コロナウイルスの落ち着きも見られたため外部研修への参加を積極的に行って参りました。外部研修に参加した職員には施設職員への伝達研修を実施し、施設職員の専門性の向上、知識、技術向上、利用者様に安心・安全なサービス提供に努めました。また新入職員、中途職員入職時にユニットケア、身体拘束、虐待等マニュアルに沿った研修を実施し、ユニット配属後はリーダーと介護主任が中心となり職員の声に耳を傾け、個人面談や相談を個々に合わせて行い、チームワークケアの強化に努めました。
3. より良い生活支援として外出レクリエーションに注力を置き、お花見・水族館・フルーツパーク・ご自宅訪問など利用者様が笑顔で楽しめるイベント実施に努めました。
4. 事故防止対策として、事故防止委員会を中心に事故への意識付けを強化したことにより昨年よりヒヤリハットへの気付きが大幅に増加しております。一方で事故が微増する結果となりましたが、微増した要因としましては、ヒヤリハットへの気付きと事故として検討する意識付けにより微増したと考えられます。事故防止への意識付けはもちろんのこと、今後もヒヤリハットへの意識付けの強化、人・物・環境・等の分析に努めていく必要があります。

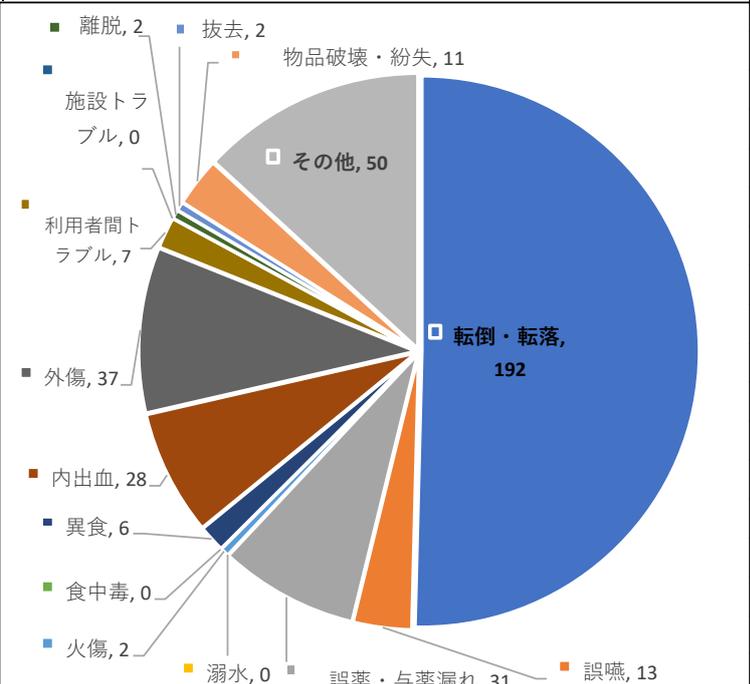
中野あおばの杜 事故・ヒヤリ分析図

中野あおばの杜 事故分析図(令和6年度)

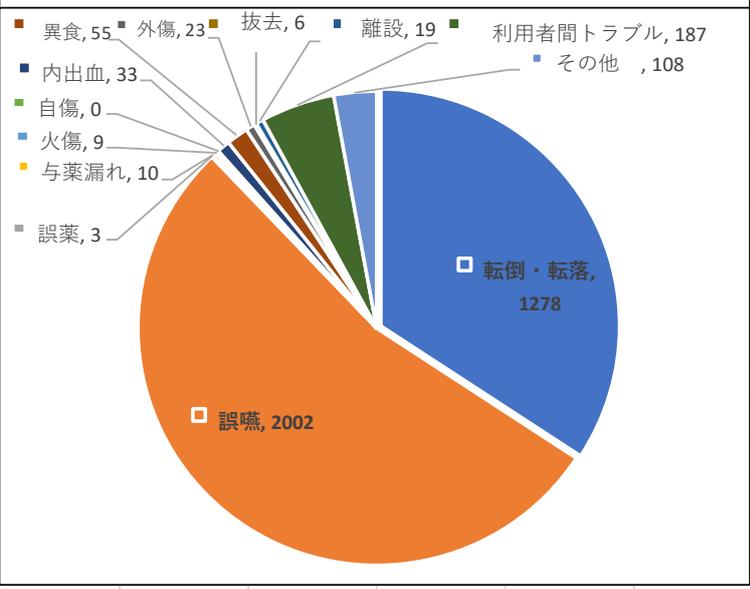
時間	件数
7~9	33
9~11	60
11~13	31
13~15	50
15~17	50
17~19	49
19~21	35
21~3	28
3~7	27
合計	363



事故種別	件数
転倒・転落	192
誤嚥	13
誤薬・与薬漏れ	31
溺水	0
火傷	2
食中毒	0
異食	6
内出血	28
外傷	37
利用者間トラブル	7
施設トラブル	0
離脱	2
抜去	2
物品破壊・紛失	11
その他	50
合計	381



ヒヤリ種別	件数
転倒・転落	1278
誤嚥	2002
誤薬	3
与薬漏れ	10
火傷	9
自傷	0
内出血	33
異食	55
外傷	23
抜去	6
離脱	19
利用者間トラブル	187
その他	108
合計	3708



看護課

「茂庭台あおばの杜」

今年度の取り組みでは、個々のニーズに合わせた医療ケアに対し、利用者様とご家族の意向を下に実践して参りました。経口移行への意向に対し、主治医や歯科医師からの指導を受けながら嚥下訓練を実施し、問題点をクリアしながら多職種で評価。経口移行実現への取り組みを3例実践しました。

看取り期の苦痛の緩和についても安楽に過ごして頂ける様、専門医と連携を図りながら取り組みを行いました。

褥瘡予防はもちろんですが、発生時の対応についても早期改善への取り組みを実践しました。多職種へ助言・指導を行いながら再発防止への取り組みに努めました。多様な医療ケアの実施が求められる中、医療事故発生へのリスクを予防する為、看護課での申し送り、実施前のダブルチェック等への意識を高め取り組みました。

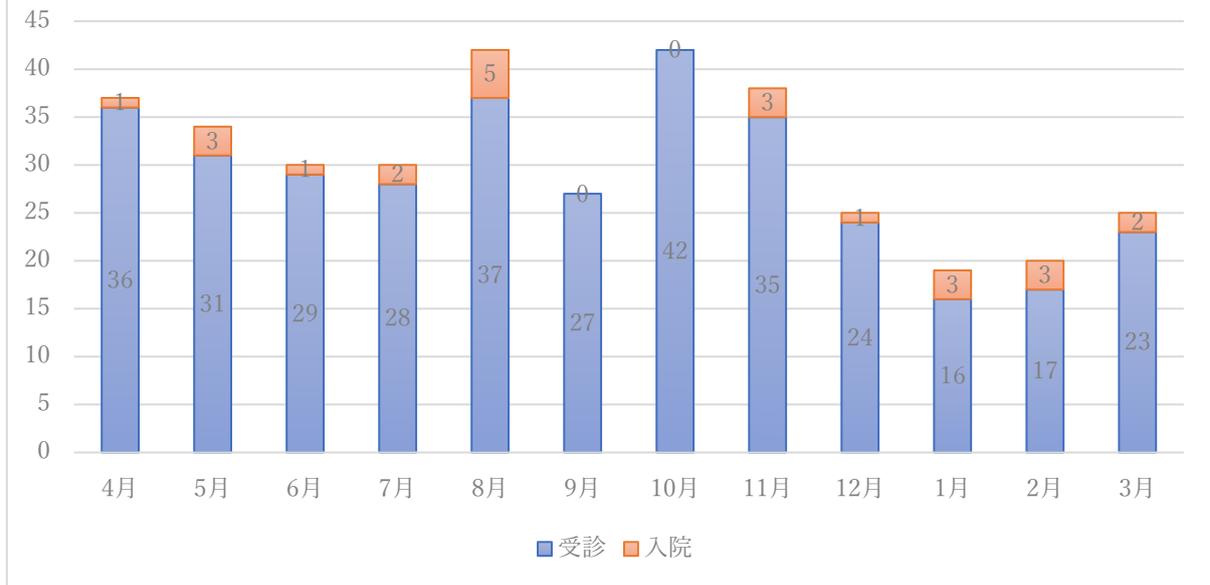
感染対策については継続的に感染予防への意識を持ち、訓練の実施、注意喚起やマニュアルの整備に努めました。

今年度は協力医療機関も増えたことから、更に医療ケアの需要に柔軟な取組が行えました。

診療科別受診医療機関について

- ＜内科＞ 東北大学病院、イムス明理会仙台総合病院、仙台赤十字病院、
仙台徳洲会病院、仙台市立病院、仙台厚生病院、東北医科薬科大学病院、
東北医科薬科大学若林病院、JCHO仙台病院、仙台医療センター、
- ＜整形外科＞ 中嶋病院、イムス明理会仙台総合病院、仙台市立病院、しまむら整形外科
- ＜精神科＞ 杜のホスピタル・あおば
- ＜泌尿器＞ 仙台赤十字病院、JCHO仙台病院、
- ＜皮膚科＞ せせらぎクリニック、東北労災病院、仙台たいはく皮膚科
- ＜脳神経＞ 仙台西多賀病院、広南病院、仙台市立病院
- ＜婦人科＞ 森ウィメンズクリニック
- ＜眼科＞ あやし眼科、平成眼科、
- ＜耳鼻科＞ イムス明理会仙台総合病院、西多賀耳鼻科、イムス明理会仙台病院
- ＜透析＞ くにみ透析クリニック

令和6年度 外部医療機関月別受診・入院件数



今年度、受診件数は合計345件でした。内訳としては内科186件と半数以上を占め、外科・整形外科、皮膚科がともに46件の受診となりました。整形外科や皮膚科といった外部医療機関の協力も得ながら、早期対応に努めていくことができました。

また、緩和ケアを希望された利用者様へは在宅往診の導入を行い体勢整備、施設での緩和ケア対応をおこないました。

入院は年間で24件、内15件については救急車要請での受診、入院となりました。入院の主な診断については、肺炎・誤嚥性肺炎での入院が8件、次いで骨折による入院が5件となっています。また、入院し退居となったケースが4件となっています。高齢者に多くみられる疾患による入院が多数占めており、今後も早期治療に繋げるにあたり日々の観察と早期発見が求められるため、看護課をはじめ多職種での情報共有と理解力を高め、情報の発信や共有にも努めていきます。

当施設にて看取りケアにより終末期を迎えられた利用者様は、今年度合計21名となりました。

「中野あおばの杜」

24時間看護師が常駐している利点を生かし、看護の視点から体調変化時は嘱託医・外部連携医療機関との連携を図り、施設での看護を展開することができました。利用者様の抱えている疾患を理解し、日々の生活の中で身体状況の観察及び把握に努めました。体調変化時は嘱託医へ報告し、医療的助言や診察を受け対応を行うことで体調の管理を図り、内服管理を行うことで疾患の安定に努めました。また、利用者様の健康診断をはじめ、インフルエンザワクチン・新型コロナワクチンの実施や定期的な通院をサポートすることで、健康状態の把握を行い、他職種との連携を図り適切なケアが提供できるように努めました。

受診・入院に関する状況（入院時の疾患）

心不全、脳梗塞、心筋梗塞、大腿骨頸部骨折、敗血症、誤嚥性肺炎、尿路感染症・ポート感染等



受診・入院先病院状況（令和6年4月～令和7年3月集計）

受診先	受診件数	受診先	受診件数	受診先	受診件数
葵会仙台病院	2	仙台市立病院	7	多賀城腎泌尿器	37
岩切病院	131	東北医科薬科	46	皮膚科	20
医療センター	7	東北大学病院	5	眼科	38
厚生病院	2	中嶋病院	13	嘱託医クリニック	54
広南病院	4	利府掖済会	20	その他	32
坂病院	14	東北労災病院	12		
塩釜市立病院	24	東脳神経外科	5	合計	473件

昨年に比べ、受診件数は増加していますが、入院件数は減少しています。誤嚥性肺炎・尿路感染症等は嘱託医の指示により、施設内で治療を行うことが要因となっています。専門的な治療が継続的に要する利用者様は、急性期病院の受診が多くなっています。

入院時の主な疾患は、誤嚥性肺炎・心不全悪化が多く、改善し再入所するケースがみられています。誤嚥性肺炎・心不全の悪化については早期発見、早期対応が必要となることから、日常的なケア・管理が重要となってきます。看護師を中心としたカンファレンスを通し、注意点を共有することで今後も悪化防止に努めていく必要があります。

また定期的なPEG交換・尿道留置カテーテル交換・ペースメーカーの点検も含まれています。

機能訓練課

「茂庭台あおばの杜」

1. 機能訓練の実施

利用者様の身体状況に合わせた車椅子の選定が行えるよう、新たにフルリクライニング・ティルトリクライニング車椅子を導入したことで、以前よりも積極的な離床活動に取り組んでおります。また、体圧分散機能のマットレスを以前使用していたものから変更し、全体での体圧分散マットの使用数を増やしています。利用者様の褥瘡予防や疼痛の緩和が図られ、身体機能や ADL の改善につながっています。

機能訓練の実施は、前年度と比較してユニット内での活動やレクリエーションの開催に重きを置いて実施しました。集団での取り組みを通して、利用者様の活動意欲や身体機能の維持に努め実施を行っております。利用者様のユニット内での活動リズムの把握に努めながら、ADL 低下に伴う事故の発生を未然に防げるよう取り組みました。

また、在宅復帰を希望する利用者様に対してご家族と協力し、自宅訪問や在宅生活に必要な福祉用具の選定、住宅改修に対する助言等を実施し在宅復帰につなげる取り組みを行っております。

2. 施策と実施状況

- (1) 利用者様の運動機能や ADL の維持と向上を目的に個別訓練や集団体操の取り組みを行いました。個別訓練の希望がある利用者様に対して、積極的に運動を取り組めるように訓練提供をしています。
- (2) 車椅子の種類や補助具について、利用者様の身体状況を鑑みながら、生活課題の改善や事故防止に繋がるよう取り組みました。新たに車椅子とマットレスを導入したことで、個々の身体状況に合わせた選定が行いやすくなりました。
- (3) 多職種と連携しながら食事姿勢の見直しや、生活背景に伴う訓練提供内容の立案を行いながら、安全に生活ができるような環境作りに取り組みました。

「中野あおばの杜」

1. 機能訓練実施

感染対策期間中は感染症蔓延に留意し、機能訓練を実施しております。訓練の内容としては、利用者様の心身機能に合わせた機能訓練や毎月開催するレクリエーション企画の中で集団体操や脳トレなど取り入れ、少しでも楽しんでいただけるよう努めました。また、生活環境で事故を未然に予防することを意識し、生活動線の見直しや利用者様の機能面の再評価、支援を行う際の介入方法について専門職として指導と助言を行い、多職種間での連携に努めました。

短期入所の個別機能訓練は、利用者様の在宅における生活環境を把握し、在宅生活継続に必要な機能維持を重点的に実施しております。利用期間が短いケースや一時的の利用の際は、利用者様やご家族の意向を確認しながら、在宅で継続できる機能訓練の立案と実施、在宅で実施する為の助言や指導を行っております。

2. 施策と実施状況

- (1) 加齢等による機能低下を防ぐ為の定期的な軽体操や機能訓練を行いました。利用者様の生活リズムや好きな活動、個々の身体状態にあったプログラムを作成し、日常的に実施できる内容も考慮した取り組みを行いました。
- (2) 利用者様の身体状況や性格、既往歴や転倒リスク等の把握に努め、随時福祉用具（車椅子・歩行器）の検討を行いました。
利用者様の課題と生活上の課題双方を鑑みて福祉用具選定を行っております。
- (3) 福祉用具（車椅子）使用に関しては、医療依存度の高い利用者様や疾患、身体状況に応じて随時使用についての評価を行いました。
- (4) 移乗介助や福祉用具活用の指導を通して、職員の腰痛予防等、負担軽減につながる取り組みを行いました。

栄 養 課

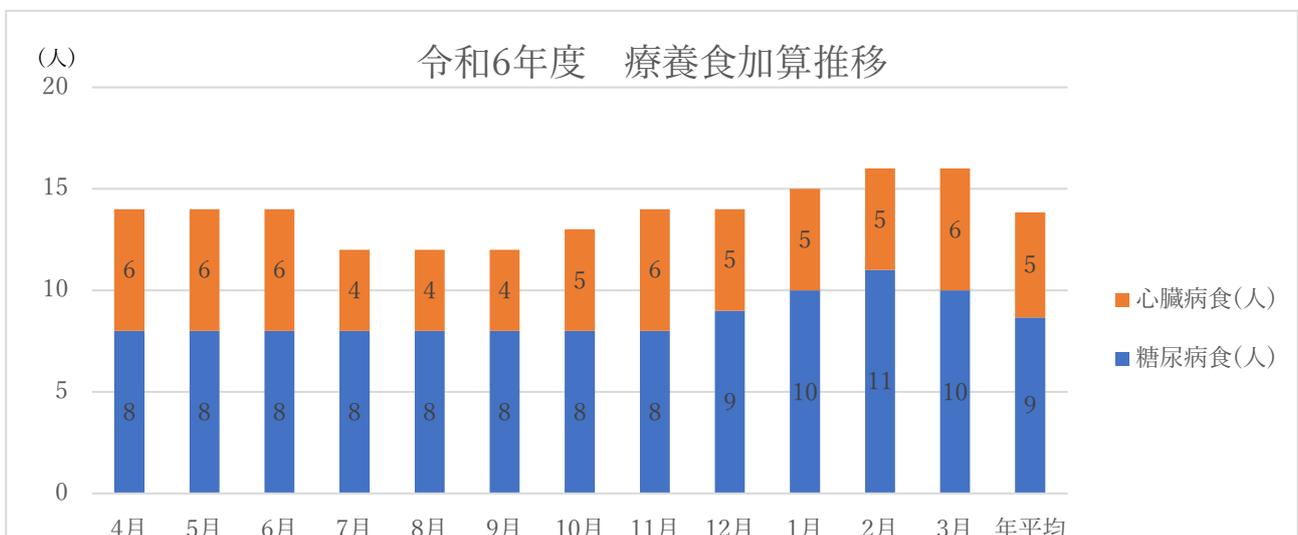
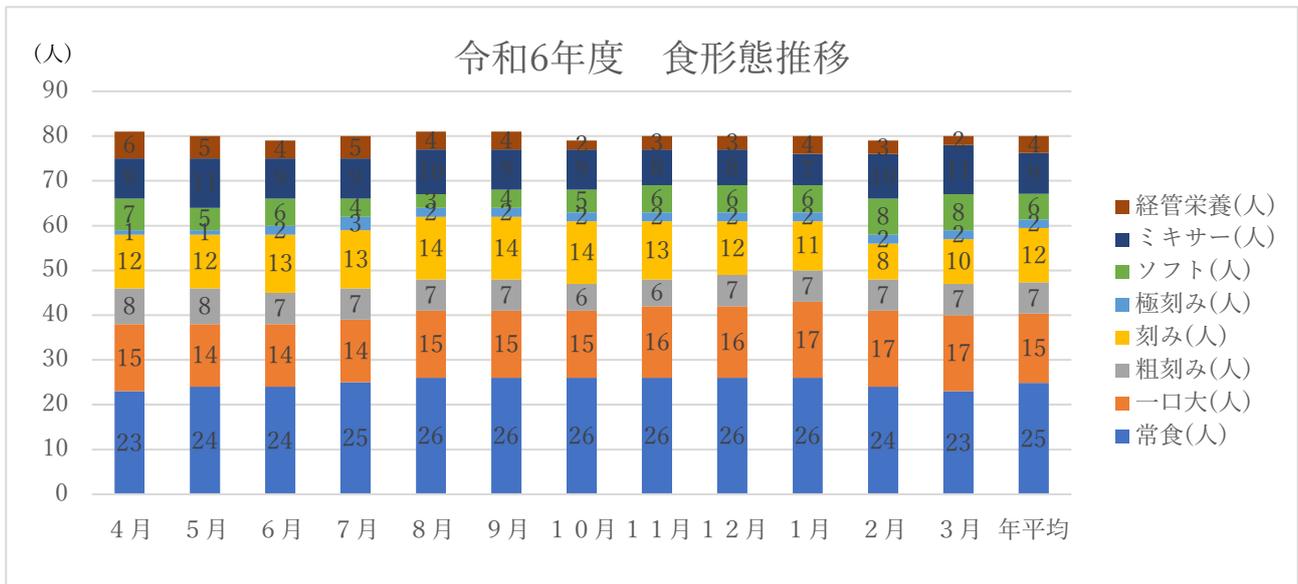
「茂庭台あおばの杜」

今年度は施設管理栄養士と厨房スタッフで献立検討会を実施し、献立に「新メニュー」や「旬の食材」を組み込み、利用者様が季節感や食べる楽しみを感じられるように取り組みました。また、「味の均一化」を図るために味見を強化し、厨房スタッフと日々話し合いを重ねながら食事の改善を行いました。

令和6年度の嗜好調査では、提供量や味付け、見た目に対し「丁度良い」「良い」の意見が多く、意見・要望では、行事食やお誕生日会などの食事を楽しみにしている方が多い結果となりました。

栄養ケアマネジメントではミールラウンドに重点を置き、利用者様の嗜好や摂取量、健康状態の把握に努め、多職種と相談しながら適切な栄養管理を行いました。

食形態の推移は毎月数名の入退所はありますが、安定しており全体的に摂取能力の大きな低下は見られておりません。



「中野あおばの杜」

今年度、栄養課では業務体制の見直しと組織力の強化に重点を置き、「チームで支える栄養管理」と「食の楽しみの増やす」の取り組みを進めてまいりました。

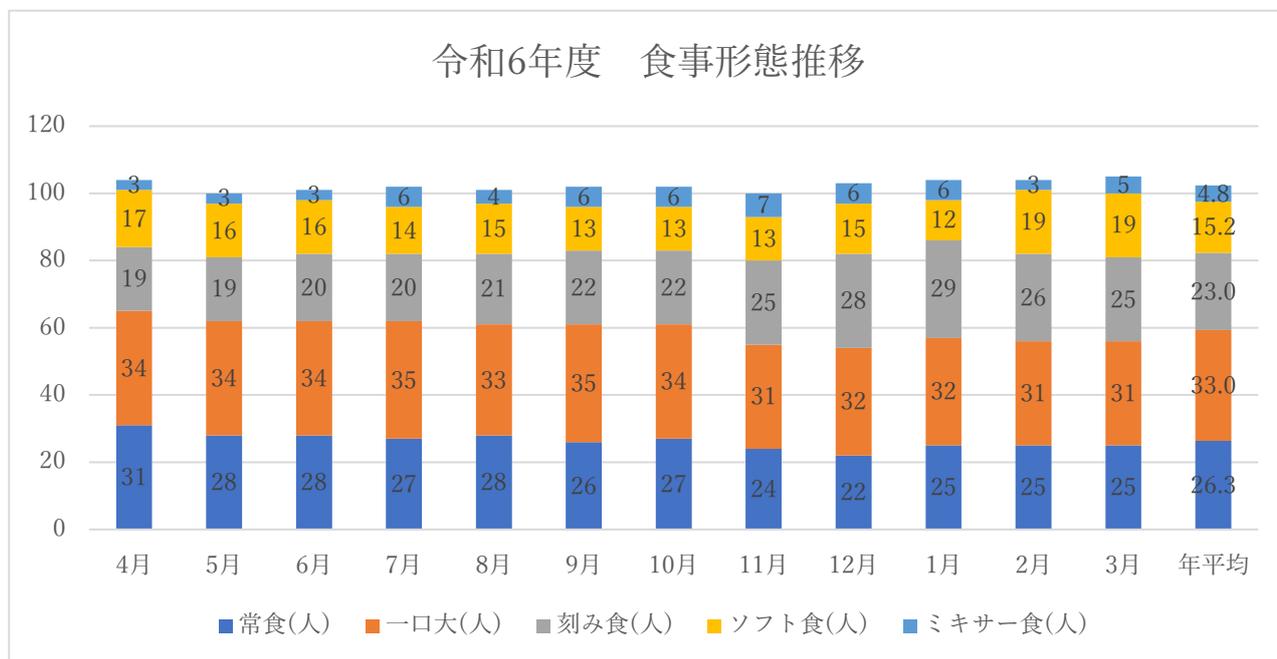
まず、従来のユニット担当制を廃止し、数ヶ月ごとのローテーション体制を導入しました。職員間の相互理解や情報共有を促進し、統一感のある業務連携体制を構築しました。これにより、栄養課全体で給食から栄養管理に至るまでの業務を共有し、利用者様に寄り添ったサービスの質の向上を図りました。

また、施設で提供できる栄養補助食品について、平均 24 名の療養食の方に対し、早期介入が可能となるよう施設内で提供できるラインナップを拡充。食事摂取量や栄養状態の低下に対して、より迅速な対応が可能な体制を整えました。

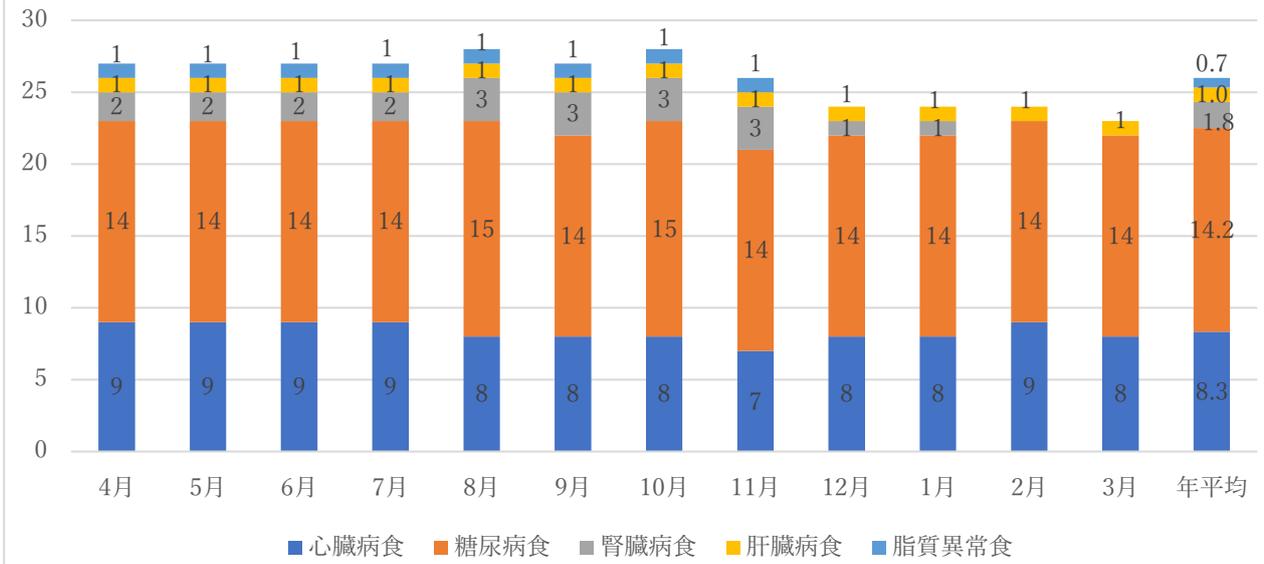
食事の提供においては、食材費の高騰が続く中でも、ユニットからのリクエストメニューを継続し、月 1 回以上の行事食の実現を達成。食の選択肢を絶やさず、日々の食事に楽しさと彩りを添える工夫を重ねてきました。

さらに、食事以外でのアプローチとしては、月 3 回パンの訪問販売を継続し、新たに「居酒屋」イベントの開催に向けた準備も進行中です。これにより、食を通じた交流や憩いの場の創出にも力を入れています。

委員会の活動では、事故防止委員会と連携し、「咽こみ確認表」の記録をもとに多職種で原因の追及と評価を実施。食事・水分のとりみ調整に関する安全対策を強化し、誤嚥・事故防止に努めました。



令和6年度 療養食加算推移



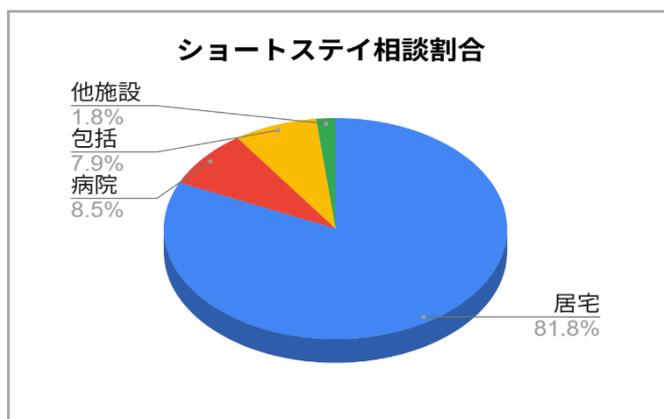
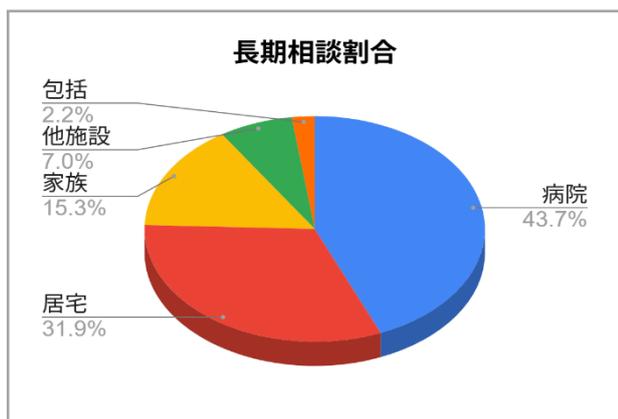
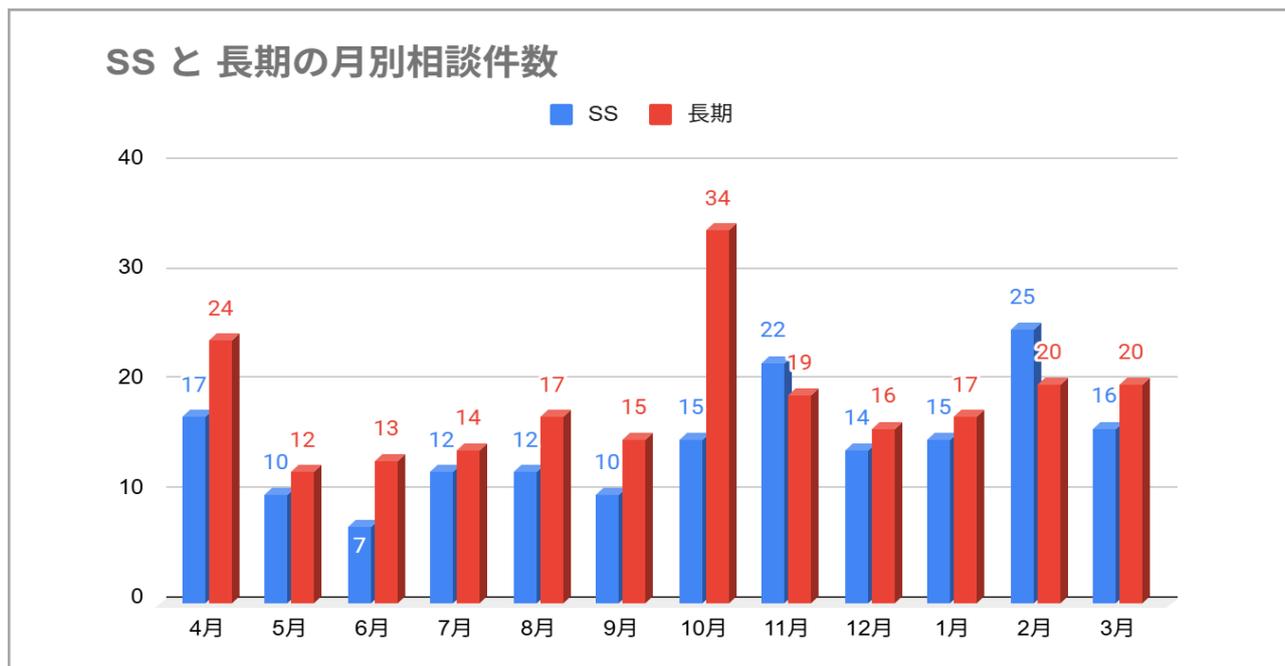
生活相談課

「共通事項」

1. 科学的介護情報システム（L I F E）の活用を継続し取り組んでいます。様々な利用者情報を集約し、より質の高いサービス提供に向け、各部署が連携を図りL I F Eの活用を実施しています。
2. ご家族との関わりについては、面会時に利用者様の日ごろの状況報告の他、状態変化等あれば、電話でのご連絡を行っております。また、ご家族へ向けたアンケートを実施し、改善点や感謝のお言葉等、貴重なご意見を頂いております。ご家族の思いにお応え出来るよう各部署と連携を取り組んでおります。
3. 地域との交流について、中野あおばの杜では、仙台市協力のもと近隣企業参加の津波避難訓練を実施しております。茂庭台あおばの杜では地域の方を招いた夏祭り開催、茂庭台・秋保地区の地域ケア会議へ参加、ボランティアの受け入れを実施しております。共通して両拠点にてお買い物イベントを実施いたしました。
4. ケアプランの目標期間更新に併せてモニタリング、カンファレンスを行い、各部署と連携しながら現状と解決すべき課題の抽出と改善に向けての検討、実施を行いました。ユニットラウンドを行い職員からの情報収集、申し送り等は内線やシステム等のICT活用し、迅速かつ的確に共有できる仕組み作りを検討しております。看取り期の方への対応としては、ご本人様・ご家族の意向を尊重し、各部署と連携を図りながらケアの内容を随時検討したほか、医師からの病状説明や看護からの処置等の説明の際には同席し、ご家族の意向を確認しながらサービス計画の作成を行いました。
5. 利用希望者、または利用者様が入院され退院する際に実態調査を行い、情報収集と各部署との情報共有に努めました。利用者様のADL状況に応じて、各部署と居室の選択や必要な福祉用具の選定を行い、安心して入居して頂けるよう入居調整を行いました。
6. 要介護認定に係る調査業務委託を受け、認定調査業務を今期も実施しております。認定調査業務の委託を受けるにあたり、適切な介護度判定の為、利用者本人やユニット職員から状況を聞き取るだけでなく、より専門性を高める為、外部の研修に参加し認定調査に必要な知識・技術の修得に努めました。
7. 在宅介護困難ケース、生活保護受給者、身寄りのない方、在宅生活へ向けたショートステイ、入院後のサービス利用の提案等、サービス利用を希望する利用者様やご家族の状況・ニーズを都度確認し、短期間～長期間のショートステイ利用や長期入所サービスの提案や対応に努めました。相談内容として多岐にわたるケースについて各部署と連携を図りながら、サービス提供に努めております。

「茂庭台あおばの杜」

安定した稼働による施設運営を目指し、様々なニーズに対応出来るよう取り組みました。相談の内容として「在宅介護の困難」「医療機関からの早期退院依頼」「利用中の介護サービス事業から対応困難と申し出があった」等のほか、「身寄りがない方の受け入れ」「医療依存度の増加」等の割合が増加傾向であり、様々なケースに対して介護サービスを提供する為の検討を施設全体で考える取り組みを行いました。取り組みの結果、介護を必要とする方への柔軟なサービス提供及び稼働率の向上につながりました。



前年度と同様に、全体的に居宅介護支援事業所からの相談が多い傾向です。また病院からの相談についても前年度と同様の割合で相談を頂いております。

【令和6年度 認定調査件数】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1件	6件	0件	2件	4件	0件	0件	4件	2件	3件	2件	2件

【令和6年度 実績報告】(令和6年4月~令和7年3月)

長期入居(定員80名)月間・年間稼働実績 目標稼働 95% (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
今期実績	98.42	97.94	98.33	98.31	97.34	96.29	98.31
前年度	90.29	93.35	94.54	94.96	98.35	96.71	95.89

	11月	12月	1月	2月	3月	平均稼働率
今期実績	97.75	99.23	97.61	98.08	96.81	97.86
前年度	95.83	98.43	98.10	98.92	98.63	94.39

短期入所生活介護(定員20名)月間・年間稼働実績 目標稼働率 85% (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
今期実績	97.67	99.35	101.6	96.94	102.58	106.67	88.23
前年度	62.17	70.16	85.67	84.35	90.81	94.33	86.13

	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均稼働率
今期実績	90.50	99.52	103.71	100.89	97.26	98.75
前年度	93.67	100.32	96.77	98.79	93.55	89.53

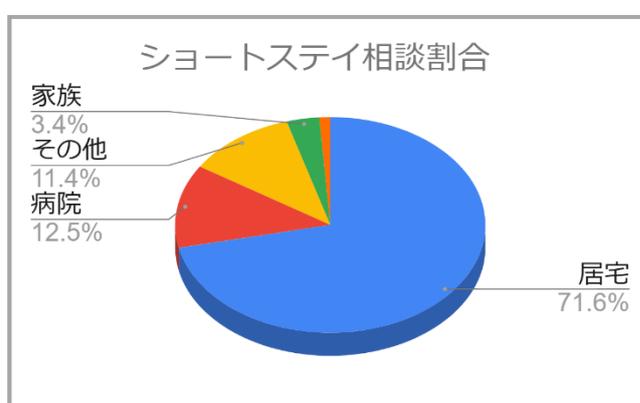
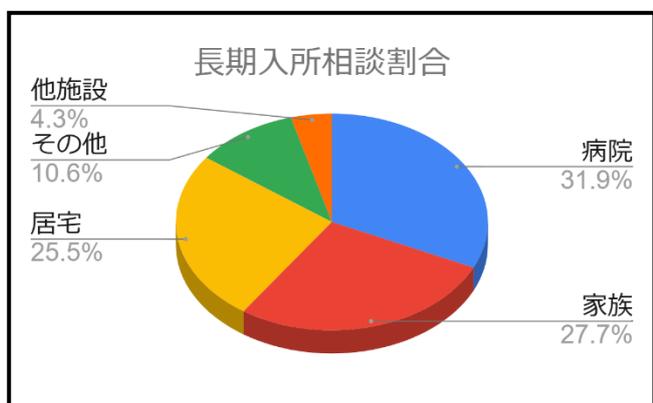
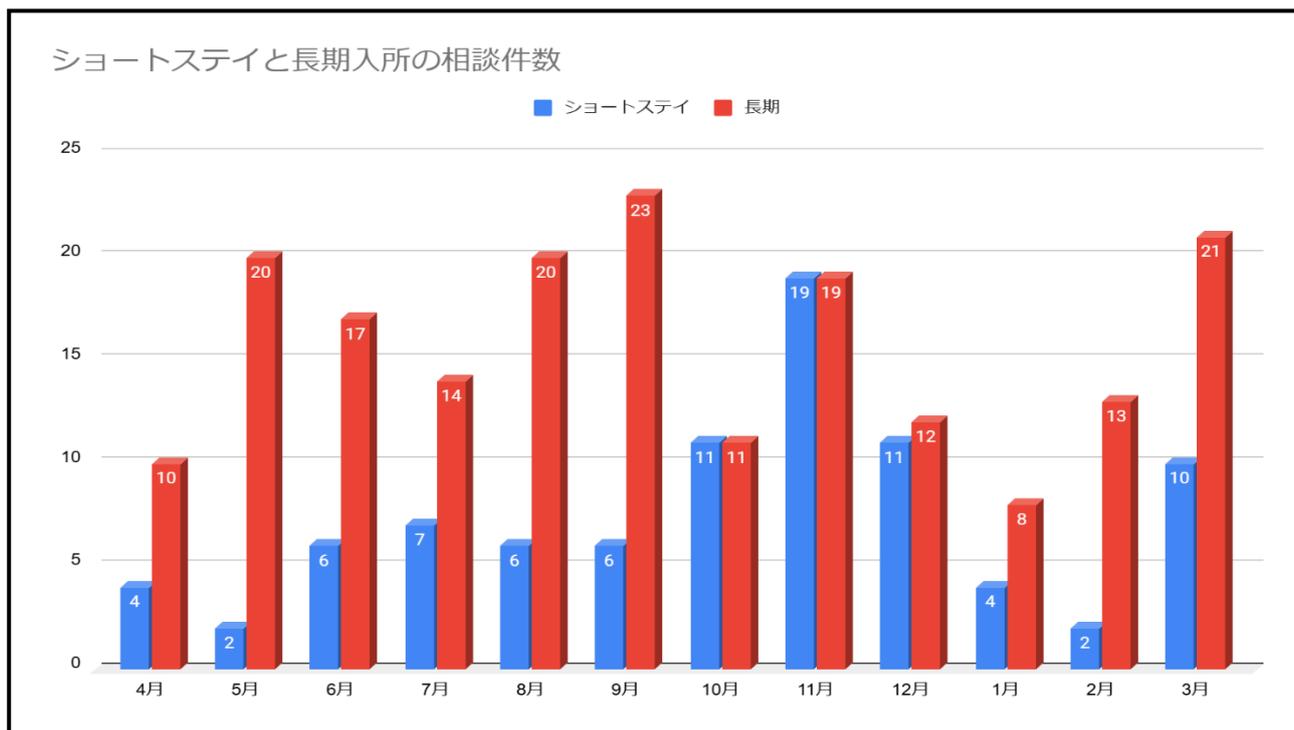
令和6年度 累積稼働実績 (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
今年度	98.27	98.23	99.00	98.03	98.39	98.37	96.29
前年度	84.67	88.71	92.77	92.84	96.84	96.23	93.94

	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均総合稼働率
今年度	96.30	99.29	98.84	98.64	96.90	98.04
前年度	95.40	98.81	97.84	98.90	97.61	94.54

「中野あおばの杜」

安定した稼働の維持に向けて、空床が出る前から実調や契約を行い、スムーズにご案内できるように努めておりました。空床が出た場合は、都度待機状況を確認し、介護の必要性が高い要介護4・5の方をメインに入居を進めておりました。また、家庭環境や状況により要介護3、特列入所の方の入所も進めております。待機者の確保が難しい場合は各事業所(居宅介護支援事業所、病院等)へのFAX営業を行い早期の待機者確保に努め、ショートステイの空床利用を活用し稼働率の安定に向け取り組みを行いました。



【令和6年度 委託認定調査件数】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0件	3件	1件	0件	0件	0件	0件	2件	3件	3件	0件	0件

【令和6年度 実績報告】（令和6年4月～令和7年3月）

長期入居（定員110名）月間・年間稼働実績 目標稼働 95% (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
今期実績	97.97	97.27	97.45	99.50	99.12	98.85	99.27

	11月	12月	1月	2月	3月	平均稼働率
今期実績	97.76	97.16	96.25	96.46	98.45	97.96

短期入所生活介護（定員10名）月間・年間稼働実績 目標稼働率 85% (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
今期実績	82.33	92.90	93.33	91.61	98.39	94.00	91.61

	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均稼働率
今期実績	98.67	93.87	93.23	93.21	87.42	92.55

令和6年度 累積稼働実績 (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
今年度	96.67	96.91	97.11	98.84	99.06	98.44	98.63

	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均総合稼働率
今年度	97.83	96.88	95.99	96.19	97.53	97.50

Ⅱ. 年間各種活動報告

i 施設行事・委員会等の報告

茂庭台あおばの杜 令和6年度 年間行事報告

4月	お花見・お買い物イベント	10月	消防訓練・お買い物イベント
5月	端午の節句・あおば農園作成	11月	芋煮会・防災訓練
6月	消防訓練・居酒屋イベント ボランティアによる音楽鑑賞会	12月	クリスマス会
7月	夏祭り・七夕	1月	安全健康祈願・餅つき大会
8月		2月	豆まき
9月	敬老会	3月	桃の節句・外出イベント

中野あおばの杜 令和6年度 年間行事報告

4月	お花見・海鮮丼巡り	10月	芋煮会・秋祭り
5月	おやつイベント	11月	外出レク（定義山） 津波避難訓練
6月	消防訓練・水族館	12月	クリスマス会
7月	買い物レク	1月	安全健康祈願・餅つき大会
8月	七夕飾り	2月	豆まき・消防訓練
9月	敬老会 （富沢南なないろ保育園参加）	3月	桃の節句

※地域等の感染状況に留意し、予防策を講じながら実施致しました。

ii 内部・外部研修報告

月	茂庭台あおばの杜		中野あおばの杜	
	外部研修	内部研修	外部研修	内部研修
4月	新入職員研修	ハラスメント研修	感染研修	事故防止研修
5月	中堅職員研修	褥瘡予防 排泄アイテム	新任職員研修	身体拘束・虐待防 止について
6月	清掃、清潔の研修	危険予測訓練 事例検討会	仙台市シェイクア ウト研修 UL研修	認知症のケア 事例検討
7月	食中毒研修	身体拘束防止 客体防止	施設看護管理研修	感染対策について 身体拘束について
8月	基本的な介護技術 相談員研修	高齢者施設におけ る感染対策 標準予防の実践	施設従事者による 高齢者虐待対応の 基本	虐待の防止
9月	仙台赤十字病院 懇談会 報酬改定研修	認知症ケアについ て	コミュニケーション 技術・対人援助 技術研修	看取りケアについ て
10月	権利擁護研修 高齢者の食事 自立支援 福祉用具の活用 記録の書き方	看取りについての 理解を深める	中堅職員研修研修 ユニットケア基礎 研修 施設ケアマネジャ ー研修	身体拘束防止 虐待防止
11月		感染経路研修	認知症基礎研修	避難訓練
12月	認知症について	事故防止 自己再発防止	認知症基礎研修 排泄ケア研修	事故防止研修 排泄ケアについて
1月	高齢者のリハビリ について 給食事例発表研修	認知症ケア 事例検討会	福祉レクの向上 BCP作成研修 UL研修 介護報酬改定研修 宮城介護職員研修	感染対策 身体拘束防止 虐待防止
2月		褥瘡研修	医療安全研修 メンタルヘルス 看護ユニット研修 アセスメント研修	事故防止対策
3月	低栄養と嚥下障害 について	身体拘束防止	ユニットケア基礎 研修	認知症ケア研修

ふくろうケアプランセンター茂庭台 事業報告

【実施状況】

1. 地域包括ケアシステムを念頭に、広域での相談対応を可能とするため、その方の住み慣れた地域でのサービス事業所と連携の強化に取り組みました。住み慣れた地域や自宅での生活及び看取りの介護を、地域やご家族と協力して取り組むことができました。今年度の自宅での看取り介護は2件となっております。
2. 新規問い合わせについては、全ての利用者様やご家族に寄添って対応する事を基本としており、遠方や困難事例等も対応することが出来ております。こういった活動により、その他の新規相談に繋がっております。具体的には医心館仙台八乙女・医心館仙台長町等の新規申請中や暫定利用の方、山田包括や南光台包括等、様々な方面から定期的に新規の相談を頂くことが出来ております。12月には登録数の増加に伴い、介護支援専門員の増員に向けて採用活動を開始し令和7年度4月から2人体制となっております。
3. 個人情報保護については保険証や利用者様等の情報を取り扱う為、FAXでの送付は行わず、メールや郵送にて対応する事取り組みを行っております。
4. 地域自治会とのつながりは無かったものの、利用者様の生活地域の地域包括支援センターとの連携や利用事業所との連携を図ると共に、併設施設の委員会へ参加を行っております。

利用者様の安否確認優先順位名簿の作成は現在進行中ですが、電源喪失により生活に支障の出る利用者様の選出は完了しております。電源を必要とする福祉用具選定の際は利用者様の置かれている状況を鑑み、電源喪失しても2週間程度問題ない物を選定する他、電源喪失時の対応について利用者様やご家族へ指導するなど自助を強める働きかけ実施しております。

【目標達成状況】

目標としていた30件については10月に達成となっております。

・月間登録状況(令和6年度)		開設												
	月/介護状況	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
要介護	要介護5	0	1	0	1	2	4	5	5	4	4	3	4	2.75
	要介護4	0	1	3	5	6	5	6	5	6	8	8	8	5.08
	要介護3	0	3	6	4	4	5	6	6	8	8	9	8	5.58
	要介護2	0	0	3	4	7	7	7	7	8	6	7	6	5.17
	要介護1	0	1	5	8	5	5	8	11	9	9	9	12	6.83
	要介護登録数	0	6	17	22	24	26	32	34	35	35	36	38	25.42
要支援	要支援2	0	0	1	2	2	2	1	1	1	1	1	2	1.17
	要支援1	0	0	2	3	3	2	3	4	5	4	5	4	2.92
	要支援登録数	0	0	3	5	5	4	4	5	6	5	6	6	4.08
全体	全体登録数	0	6	20	27	29	30	36	39	41	40	42	44	29.50

保育事業部事業報告

【富沢南なないろ保育園】

○事業報告概要

令和6年度は、適正な人員配置のもと、のびのびとこころ豊かな人間に成長・発達することを支援し、保護者に安心して預けられるように、一人ひとりの思いを汲み取った上で共感していくという丁寧な保育を職員全員で心掛けた。

令和6年度は初めて夏祭りを実施し、子ども達、保護者の皆様に満足いただける園内行事となった。また、新型コロナウイルスの影響で控えていた小学校見学も実施した。

I. 実施状況

i 保育事業

- 1) 通常保育事業（月～土 7時～18時実施） 定員90名（最大受入数108名）
- 2) 延長保育事業（月～土 18時～20時実施）
- 3) 一時預かり保育事業（月～土 7時～18時実施）

ii 給食部門

- 1) 食育活動
- 2) 衛生管理の徹底
- 3) アレルギー対応の徹底

iii 看護部門

- 1) 日々の健康管理および健康指導
- 2) 歯科健診

iv 防災部門

- 1) 防災・避難訓練（毎月）
- 2) 不審者対応訓練（年3回）

√年間行事 ※身体測定、防災・避難訓練は毎月実施

月	行事内容	活 動 内 容
4月	入園式	新入園児を迎え、入園したことを祝う
5月	子どもの日会	各クラスで制作をしたり歌を歌ったりして祝う
	おやつ参観 懇談会	3・4・5歳児対象、懇談会、おやつ参観に保護者も参加する
	健康診断	2日間に分けて未満児・以上児の内科健診を行う
6月	花王 手洗い講座	花王の講師に来園いただき、手洗いの大切さや正しい手の洗い方を教えて頂く
	給食参観 懇談会	0・1・2歳児対象、懇談会、給食参観に保護者も参加する
7月	歯科健康診査	全園児歯科健診を受診する
	七夕・夏祭り	園内で夏祭りを行い、保護者も参加する
	プール遊び	全園児でプール遊びを楽しむ
	花王 からだひとりあらい	花王の講師に来園いただき、からだの洗い方などを教えて頂く
9月	お店屋さんごっこ	年長児が中心となり、お店屋さんを開く
10月	運動会	仙台市体育館で全園児合同で行う
	健康診断	2日間に分けて未満児・以上児の内科健診を行う
	遠足	3・4・5歳児で八木山動物公園に行く
	ハロウィン パーティー	ハロウィンの由来や合言葉を教えてもらい、お菓子をもらう
11月	総合避難訓練	消防署の方が来園し、避難訓練を行う 消防車を見学する
12月	生活発表会	園内にて全園児入れ替え制で発表会を行う
	クリスマス会	サンタクロースが来園し各クラスにプレゼントを配り、行事を楽しむ
2月	節分・豆まき会	節分の由来を知り、行事に参加する
	個人面談	面談希望の保護者と子どもの成長や子育ての悩み等を共有する
3月	新入園児説明会	来年度入園する園児と保護者の不安がなくなるよう説明会を開く
	ひなまつり会	ひなまつりの由来を知り、行事を楽しむ
	卒園式	園生活を通して成長したことを褒め、新たな門出をお祝いする
	お別れ会	卒園児にお祝いのプレゼントをする、リクエスト給食を食べる

※毎月誕生会を開催、以上児・未満児に分かれて誕生児をお祝いする

II. 施設運営管理

i 会議等

月	内 容	月	内 容
4月	定例会議（全体・未満児・以上児）	10月	定例会議（全体・未満児・以上児）
5月	定例会議（全体・未満児・以上児）	11月	定例会議（全体・未満児・以上児）
6月	定例会議（全体・未満児・以上児）	12月	定例会議（全体・未満児・以上児）
7月	定例会議（全体・未満児・以上児）	1月	定例会議（全体・未満児・以上児）
8月	定例会議（全体・未満児・以上児）	2月	定例会議（全体・未満児・以上児）
9月	定例会議（全体・未満児・以上児）	3月	定例会議（全体・未満児・以上児）

ii 研修等

1) OJT 研修

月	研 修 内 容	参加人数
4月	児童の処遇、書類の書き方、アレルギー児、離乳食について	29名
5月	保健衛生	15名
6月	ケース会議①	15名
7月	保護者支援、子育て支援	15名
8月	月齢に合った保育体験	15名
9月	ケース会議②	15名
10月	ノンコンタクトタイム	15名
11月	食育～乳幼児期に大切な食事やマナーについて	15名
12月	手作りおもちゃ作り	15名
1月	SDS～自己研鑽、振り返り	15名
2月	ケース会議③	15名
3月	次年度の引継ぎ、ノンコンタクトタイム	23名

2) 外部研修

月	研 修 内 容	参加人数
5月	特別支援コーディネーター研修(初級)①②	1名
	看護職員研修	1名
	初任保育士研修Ⅰ	1名
6月	園長研修	1名
	初任保育士研修Ⅱ	1名
	特別支援コーディネーター研修(初級)③	1名
	乳児保育研修会Ⅰ	1名
	保護者支援・子育て支援研修会(キャリアアップ研修)	1名
	幼児教育担当者研修会(キャリアアップ研修)	1名

7月	栄養士研修会	1名
	乳児保育研修会Ⅱ	1名
	特別支援保育研修会	1名
	中堅保育士研修	1名
	特別支援コーディネーター研修(初級)④	1名
8月	給食担当者研修会	1名
	特別支援コーディネーター研修(初級)⑤	1名
	主任保育士研修会	1名
	特別支援コーディネーター研修フォローアップ①	1名
	障害児保育担当者研修会(キャリアアップ研修)	1名
9月	特別支援コーディネーター研修(初級)⑥	1名
	園長研修会Ⅱ	1名
10月	講演会	1名
	食物アレルギー研修	1名
	主任保育士等研修会	1名
11月	特別支援コーディネーター研修(初級)⑦	1名
	特別支援コーディネーター研修フォローアップ②	1名
	幼児教育研修①(キャリアアップ研修)	1名
	中堅保育士研修	1名
	保護者支援・子育て支援研修(キャリアアップ研修)	1名
	マネジメント研修(キャリアアップ研修)	1名
	保健衛生・安全対策研修(キャリアアップ研修)	1名
	食育・アレルギー対応研修(キャリアアップ研修)	1名
	障害児保育研修(キャリアアップ研修)	1名
	幼児教育研修(キャリアアップ研修)	1名
	乳児保育研修(キャリアアップ研修)	1名
12月	幼児教育研修②(キャリアアップ研修)	2名
	幼児教育研修③(キャリアアップ研修)	1名
	特別支援コーディネーター研修(初級)⑧	1名
	児童虐待防止推進員養成研修	1名
	児童発達支援センター地域支援事業	1名
	初任保育士研修	1名
1月	中堅保育士等研修会	1名

iii 施設見学・職場体験・実習生の受け入れ

受け入れ期間	学校名	目的	受け入れ人数
2月12日～2月14日	東北福祉大学	ボランティア	1名

iv 事故件数

保育中の怪我による通院件数 … 8 件

年 齢	怪我の内容	対 応
2 歳児	保育室内で遊んでいた際に、他児とのトラブルから右頬を引っ掻かれ傷になる。右顔面挫創。	整形外科受診
5 歳児	玄関で靴を履き替え園庭に向かおうとしたところ、勢いよく下唇を噛み出血。給食、午睡は通常通り過ごしたが、午睡明けに歯と唇の痛みを訴えたため、確認。右前歯とその隣の歯にぐらつきが見られた。外傷性歯の打撲、下口唇部裂傷。	歯科受診
5 歳児	保育室内で自由遊び中に、ままごとコーナーのお店に寿司のチラシをテープで貼ろうとした際に、テープ台が足に落下。カッター部分が右足人差し指にあたり切り傷となる。右第二趾切創。	整形外科受診
0 歳児	保育室内で積み木を出して遊んでいた際に他児と向かい合わせの形となり、他児に右頬を引っ掻かれる。右頬部擦過傷。	内科受診
0 歳児	保育室内のパーティションで区切られた遊びのスペースで遊んでいた際にフローリング部分で転倒。左側の歯のぐらつき、出血が見られた。外傷性亜脱臼。	歯科受診
0 歳児	午睡明けにレゴブロックで遊んでいた他児と玩具の取り合いになり、思い通りにいかず癩癩を起こした本児が後ろに倒れ、後頭部を床にぶつける。床に散らばっていたレゴブロックの上から後頭部をぶつけた形となり、出血があった。頭部打撲擦過傷。	整形外科受診
0 歳児	午睡中、早めに起床した本児を食卓椅子に座らせ、絵本を読んでいたが自身で足を動かし食卓椅子をガタガタと揺らしたところ、椅子の脚が自身の足の上ののった状態となった。左足背打撲。	整形外科受診
3 歳児	保育室内で机に座って遊ぶ活動中に、他児とロッカーに自分の物を取りにいこうとした際に他児の肩と顎がぶつかり、上右前歯の歯茎より出血した。外傷性亜脱臼。	歯科受診

上記について同じ事故を起こさぬよう、また新たな事故を起こさぬように、施設整備・保育環境の見直しを行いながら、職員一人ひとりが意識を高く持ち、安心安全の保育環境整備に努めて参ります。

v 給食部門報告

【令和 6 年度の目標・趣旨】

楽しく食べる経験を深め、『食を営む力』の基礎を培う。

安全・衛生的で、園児に喜んでもらえる食事の提供を目指す。また、食育活動を通して食に興味を持てる環境を作り、好きな食べ物が一つでも増えるようにする。

【概要】

- ① 安全・衛生的な食事を提供する。厨房業務の管理を行なう。
給食時、保育室へ喫食状況の観察に行き、個々の喫食状況や好みを知る。
- ② “食べること”に興味を持てるよう、季節に合わせた食材や、献立の検討を行い、食事を提供する。
食育活動においては、子どもたちが食に興味を持てる活動を検討し、実施する。喫食状況や、活動の反省を踏まえて給食会議を開催する。
また、個別での配慮が必要な離乳食児、アレルギー児については、給食室・担任・施設栄養士で必要に応じて会議を行い、変更点を周知する。

【実施内容】

・栄養管理

毎月の発育測定の数値を把握し、カウプ指数・成長曲線の作成を行い、担任と共有している。肥満・やせを把握し、担任及び看護師と経過を観察し、必要時には働きかけを行った。年2回、性別・年齢・発育測定値及び食事摂取基準をもとに、3歳未満児と3歳以上児で給与栄養目標量を設定し、献立作成の基準とした。

・食育活動

年齢に応じた食育活動計画書を作成し、活動を実施した。

食材と触れ合う活動や、栽培活動、保健活動、食事のマナーや食具の使い方など、子どもたちの興味のあることや課題などを担任と情報共有しながら活動内容を検討し、実行した。活動実施後、活動が年齢にあったか、活動に興味を持っていたかなど、子どもたちの様子を踏まえて反省を行った。

(食文化に触れる)



(保健活動)



(食材に触れる)



・イベント食

毎月の誕生会、行事食の提供を行った。異年齢の交流を深めた食事会を開催した。季節感のある食事の提供を積極的に行った。

・喫食状況の把握

食事の際は、喫食状況や離乳食児の食材の大きさなどを確認した。

離乳食児は家庭での食事の様子を、保護者から聞き取り連携しながら形態段階を進めた。子どもたちが苦手なメニューや食材については、少しでも食べられるよう調理方法や組み合わせについて検討した。

子どもたちの食事のマナーについてアドバイスをを行った。

・安全な食事に向けて

離乳食・アレルギー食の誤配を防ぐため、配膳前のチェックを行った。

離乳食児は、食事形態の相違がないかの確認も行った。誤配を防ぐため、的確かつ簡素化した指示書の作成を行った。

アレルギー児の周知と、アナフィラキシー症状について周知・理解に努めた。

【時期に向けての課題】

- ・食や、食材に興味を持ち、食事の時間が楽しいと思えるような活動を企画する。
- ・アレルギー児の対応、周知の徹底を行う。

vi 防災・避難訓練

月	行事内容	活 動 内 容
4 月	避難訓練	火災を想定し 保育士の側に集合（保育室入口まで避難）
	不審者対応訓練	職員会議にて対策を検討
5 月	避難訓練	火災の合図で担任のもとに集まり指示に従って行動する
6 月	避難訓練	地震が起きた際の避難の仕方を知る
	不審者対応訓練	不審者への対応や避難の際の合言葉等を職員同士で周知する
7 月	避難訓練	保育士の声かけに反応しおやつや玩具に気をとられないで避難する
	浸水避難訓練	大雨が降ったことを想定し垂直避難を実施する
8 月	不審者対応訓練	園内に不審者が現れた際の手順を把握し、落ち着いて行動する
	避難訓練	早朝に近隣より出火したことを想定し避難をする
9 月	避難訓練	夜間避難訓練
	避難訓練	土曜保育時の避難の仕方を知る
10 月	避難訓練	二次避難場所を知る
11 月	総合避難訓練	消防署の方に避難の仕方等見てもらい講評を受ける。
12 月	避難訓練	担任以外の先生の指示に従って避難する
	不審者対応訓練	玄関より不審者が現れた際の対応、避難を知る。
1 月	避難訓練	朝の時間帯避難訓練の目的を知る
2 月	避難訓練	火災を想定し 保育士の側に集合（非常口まで避難）
	浸水避難訓練	大雨が降ったことを想定し垂直避難を実施する
3 月	避難訓練	三次避難場所を知る
	Jアラート避難	Jアラート発令に伴い、屋内に避難。警報解除まで待機をする

vii 職員配置

施 設 長	1 名
主 任 保 育 士	1 名
保 育 士	23 名（常勤：21 名 非常勤：2 名）
栄 養 士	2 名（常勤：1 名 非常勤：1 名）
看 護 師	2 名（常勤：1 名 非常勤：1 人）
嘱 託 医	1 名
嘱 託 歯 科 医	1 名

【鹿野なないろ保育園】

○事業報告概要

令和6年度は、適正な人員配置のもと、のびのびとこころ豊かな人間に成長・発達することを支援し、保護者に安心して預けられるように、一人ひとりの思いを汲み取った上で共感していくという丁寧な保育を職員全員で心掛けた。

感染症対策を徹底し、全ての行事を本来の形に取り戻し、子どもたちにも保護者にも満足していただけるよう実施した。

I. 実施状況

i 保育事業

- 1) 通常保育事業（月～土 7時～18時実施） 定員90名（最大受入数108名）
- 2) 延長保育事業（月～土 18時～19時実施）
- 3) 一時預かり保育事業（月～土 7時30分～18時実施）

ii 給食部門

- 1) 食育活動
- 2) 衛生管理の徹底
- 3) アレルギー対応の徹底

iii 看護部門

- 1) 日々の健康管理および健康指導
- 2) 保健だよりの作成
- 3) 内科健診・歯科検診

iv 防災部門

- 1) 防災・避難訓練（毎月）
- 2) 不審者対応訓練（年2回）

▽年間行事 ※身体測定、防災・避難訓練は毎月実施 ☆…保護者参加行事

月	日	行 事	対 象	内 容
4月	1(土)	☆入園進級式・クラス懇談会	全園児	入園・進級したことを喜び
	24(水)	健康診断	全園児	内科健診
5月	1(金)	こどもの日会	3～5歳児	製作を披露したり歌ったりして祝う
	23(金)	☆親子遠足	4・5歳児	親子一緒にバスで動物園に行き、スタンプラリーをしたりお弁当を食べたりする
	31(金)	龍 ゲーム大会	3～5歳児	ご当地ライダーを派遣し、ゲーム大会を楽しむ
6月	11(火)	☆保育参観	3歳児	親子でロケットを製作
	12(火)	☆保育参観	4歳児	親子でムシバイキンを製作
	13(水)	☆保育参観	5歳児	親子でお店屋さんごっこを行う
	14(木)	☆保育参観	2歳児	親子でふれあい遊びを行う
	18(火)	歯科健康診査	全園児	歯科健診
7月	1(月)	交通安全教室	3～5歳児	財団交通課を招いて道路の渡り方等を学ぶ
	5(金)	七夕会	3～5歳児	製作を披露したり歌ったりする。また、七夕の由来に合わせた出し物を楽しむ
	13(土)	☆夏まつり	全園児	各保育室に出店を設置し、親子でお祭りの雰囲気を楽しむ
9月	28(土)	運動会	全園児	小学校体育館にて2部制で各クラスかけっこやおゆうぎ、リレーなどを行う
10月	2(水)	健康診断	全園児	内科健診
	9(水)	龍 防犯教室	3～5歳児	ご当地ライダーを派遣し、防犯について学ぶ
	16(水)	楽天フレンドシップジャーニー	3～5歳児	楽天のチアリーダーとキャラクターを招いて、ダンスやゲームを行う
12月	21(土)	☆生活発表会	1～5歳児	入替制で歌や表現遊び、劇ごっこ等、各年齢に合ったものを表現する
1月	21(火)	☆保育参観	0歳児	親子で製作やふれあい遊びを楽しむ
		☆懇談会	5歳児	進学に向け話し合いを行う 子育ての悩み等を共有する
	22(水)	☆保育参観	1歳児	親子で製作やふれあい遊びを楽しむ
	23(木)	☆懇談会	2歳児	進級に向け話し合いを行う 子育ての悩み等を共有する
2月	3(月)	豆まき会	全園児	製作を披露したり歌を歌ったりする 豆まき会を行う
	13(木)	龍 交通安全教室	3～5歳児	ご当地ライダーを派遣し、道路の渡り方等を学ぶ
3月	3(月)	ひな祭り会	4・5歳児	製作を披露したり歌を歌ったりする
	15(土)	☆卒園式	5歳児	園生活を振り返り新たな門出を祝う
	19(水)	お別れ会	3～5歳児	お別れする友達に感謝の気持ちを伝える

※毎月誕生会を開催、以上児・未満児に分かれて誕生児をお祝いする

II. 施設運営管理

i 会議等

月	内 容	月	内 容
4 月	定例会議（全体・未満児・以上児）	10 月	定例会議（全体・未満児・以上児）
5 月	定例会議（全体・未満児・以上児）	11 月	定例会議（全体・未満児・以上児）
6 月	定例会議（全体・未満児・以上児）	12 月	定例会議（全体・未満児・以上児）
7 月	定例会議（全体・未満児・以上児）	1 月	定例会議（全体・未満児・以上児）
8 月	定例会議（全体・未満児・以上児）	2 月	定例会議（全体・未満児・以上児）
9 月	定例会議（全体・未満児・以上児）	3 月	定例会議（全体・未満児・以上児）

ii 研修等

1) OJT 研修

月	研 修 内 容	参加人数
4 月	守秘義務、個人情報取り扱い・虐待防止について	28 名
	ミルクの作り方、おむつ交換の仕方、SIDS チェック表の記入の仕方について	7 名
	日誌の記入の仕方について	6 名
	リスクマネジメントについて	7 名
	薬の取り扱い、熱性痙攣について	28 名
	アレルギー食、離乳食について	28 名
5 月	指導計画の書き方について	6 名
	嘔吐処理について	26 名
	食育について	26 名
6 月	遊びの環境作りについて	20 名
	幼児教育について	13 名
	防災について	18 名
	水遊びについて	10 名
7 月	保護者支援、子育て支援について	12 名
	特別支援保育について	12 名
	AED 講習	10 名
8 月	アレルギー（アナフィラキシー）とエピペンの対応について	24 名
	保育経過記録の書き方について	5 名
9 月	保育園で起こりやすいヒヤリハット、事故について	8 名
10 月	リトミックについて	8 名
11 月	製作について	8 名
12 月	感染症について	4 名
1 月	遊びの環境作りについて②	9 名
2 月	全体的な計画見直し	6 名
3 月	年間反省	24 名

2) 外部研修

月	研修内容	参加人数	研修内容	参加人数
5月	コデ イネター研修①(初級)	1名	看護職員連絡会	1名
	太白区園長会	1名	コデ イネター研修②(初級)	1名
	初任保育士研修Ⅰ	1名		
6月	乳児保育研修Ⅰ	1名	主任保育士会	1名
	コデ イネター研修③(初級)	1名		
7月	特別支援保育研修	1名	乳児保育研修(キャリアアップ)	2名
	コデ イネター研修④(初級)	1名	中堅保育士研修	1名
	施設長研修	1名		
8月	コデ イネター研修⑤(初級)	1名		
9月	保育園職員講習会	2名	保護者支援・子育て支援研修(キャリアアップ)	1名
	栄養士研修	1名	コデ イネター研修⑥(初級)	1名
	園長研修会	1名		
10月	講演会	2名		1名
11月	コデ イネター研修⑦(初級)	1名	防火管理者講習	1名
	幼児教育研修(キャリアアップ)	1名	乳児保育研修(キャリアアップ)	1名
12月	幼児教育研修(キャリアアップ)	1名	コデ イネター研修⑧(初級)	1名
2月	民間主任保育士会	1名	私立保育園栄養士研修	1名
3月	民間園長会	1名		

iii 施設見学・職場体験・実習生の受け入れ

受け入れ期間	学校名	目的	受け入れ人数
10月29日～10月31日	仙台幼児保育専門学校	職場体験	1名

iv 事故件数

保育中の怪我による通院件数 … 3件

年齢	怪我の内容	対応
2歳児	保育活動中に走っていて転倒し、左目尻をぶつけ出血する。左眼球打撲傷、左眼瞼炎。	眼科受診
5歳児	運動会練習でパラバルーンを行っていた。タイミングが周囲とずれてしまい顔を地面にぶつけ上唇が腫れ、前上歯茎から出血する。	歯科受診
2歳児	避難訓練中、散歩リングを掴んで歩いていたら転倒し、上前歯をぶつけ歯茎を裂傷し出血する。	歯科受診

上記について同じ事故を起こさぬよう、また新たな事故を起こさぬように、施設整備・保育環境の見直しを行いながら、職員一人ひとりが意識を高く持ち、安心安全の保育環境整備に努めて参ります。

√ 給食部門報告

【令和6年度の目標】

- 安全で衛生的な食事の提供を維持する。
- 食育活動を充実させ、子どもの食に対する興味・関心を高める。
- 季節感のあるメニューやイベント食を食べやすく、子どもが楽しめるものに改善する。
- 食育目標：食事を楽しみ、食への興味・関心を高め、心身ともに健康を保つように働きかけを行う。

【概要】

- ① 安全かつ衛生的な食事を提供することができるよう、厨房業務の管理を行う。
個別での配慮が必要な離乳食児、アレルギー児においては、保護者から家庭での食事の様子を聞き取り、給食室・担任・施設栄養士で必要に応じて話し合い、情報を周知する。
- ② 食育活動においては、子どもたちが食に興味・関心を持てる活動を検討し、実施する。
安全面を考慮しながら、様々な食体験を通して食への興味・関心を高める。
- ③ 食事時には保育室を巡回し、子どもたちや保育士への聞き取りを行いながら、個々の喫食状況や嗜好の傾向を確認する。食べることに興味を持てるように季節に合わせた食材や料理の検討を行い、食事を提供する。

【実施内容】

- 安全な食事に向けて
日清医療食品のチーフと密に情報共有を行い、安全かつ衛生的な給食の提供に努めた。
離乳食やアレルギー食の誤配を防ぐため、献立作成時に委託側と施設側で二重に内容を確認し、配膳前にもチェックを行った。
離乳食では、食事形態があっているかや、咀嚼や嚥下が出来ているのかを確認し、一人一人に合わせた食事の提供を心掛けた。発達に応じた食事が提供できるように保護者に声がけを行い、保育士と連携しながら幼児食への移行を進めていった。
また、食物アレルギー・離乳食について園内研修を行い、園児の状況や対応について周知した。アナフィラキシー児の対応も追加となったため、全職員でエピペンの使い方等の研修を行い、アレルギー対応について入念に確認をした。
- 喫食状況の把握
食事の際には、保育室の巡回にて喫食状況を確認し、苦手なメニューや食材については、食べさせる時の声掛けを工夫したり、取り入れるメニューを変えたりして対応した。また、少しでも食べやすくなるように給食会議で話し合い献立に反映させ、食べ慣れているメニューを中心に献立を作成した。
- イベント食
毎月の誕生会、季節に合わせた行事食の提供を行った。
誕生会メニューでは、その月の誕生児には名前入りのクッキーを付けて提供した事で、より特別感を味わえるようにした。
行事食では子ども達が好むメニューを選び、盛り付けの工夫を行い、喜んで食べられるものを取り入れた。
また絵本に出てくる食事を再現した「絵本給食」、子どもたちからのリクエストを聞き取

った「リクエスト給食」を取り入れ、子どもが楽しみにするような食事提供を心掛けた。



図 1.こどもの日会メニュー



図 2.誕生日会メニュー



図 3.リクエストメニュー

・食育活動

食育活動では、一年を通して流れのある内容で計画を立てた。食への興味・関心だけでなく、自分で作る喜びや友達と協力する楽しさなども感じられるような活動を取り入れた。食に関するマナーとして、食具の持ち方や、食べる時の姿勢、三角食べなど年齢に応じた活動を行うようにした。

プランター栽培では、春・秋の二回、ミニトマトやピーマン、小松菜やミニ大根など、季節に合った旬の食材の栽培を行った。収穫したものは給食や食育活動に取り入れ、採れたての野菜の味や食感を味わえるようにした。

クッキング活動では子ども達の意欲を引き出せるよう工夫をした。クリスマスケーキやパン作りなど、一人ずつ作るものから、カレーや芋煮作りなど、子ども達同士で協力をして完成させるものも実施した。また、保育室で調理過程を見学する機会を増やし、料理が出来上がるまでの臨場感を味わえるようにした。自分たちで作った喜びや友達と協力する楽しさを感じられるよう、活動内容を工夫した。



図 4.カレー作り



図 5.クッキー作り



図 6.スイートポテト作り

【今後の課題】

- ・安全・衛生的な食事の提供を維持する。
- ・月齢やクラスの状況に合わせ、感触遊びや栽培活動、クッキング活動を充実させる。
- ・アレルギーや誤嚥等、食事に関する事故には引き続き十分に気をつける。

食育実施記録

月	食育内容	対象(参加人数)	食育内容	対象(参加人数)
4月	食器の置き方	4歳児(18名)	キャベツの観察	5歳児(21名)
	三食食べ	5歳児(18名)		
5月	ピーマンの栽培	4歳児(20名)	オクラの栽培	3歳児(20名)
	枝豆、ミニトマトの栽培	5歳児(21名)		
6月	だしの飲み比べ	4歳児(19名)	三食食品群	5歳児(20名)
	正しい箸の持ち方	4歳児(19名)		
7月	寒天遊び	2歳児(17名)	オクラのごま和え作り	3歳児(20名)
	カレー作り	5歳児(18名)		
8月	シャーベット作り	4歳児(19名)	野菜スタンプ	3歳児(18名)
	みそ作り	5歳児(16名)	野菜スタンプ	1歳児(16名)
	ずんだ作り	5歳児(16名)	ピザトースト作り	4歳児(17名)
	とうもろこしの皮むき	2歳児(14名)		
9月	小松菜の栽培	3歳児(18名)	ミニ大根の栽培	5歳児(20名)
	ほうれん草の栽培	4歳児(20名)		3歳児(22名)
10月	スイートポテト作り	4歳児(20名)	きのこほぐし	1歳児(15名)
	梨とりんごの違い	3歳児(18名)	芋煮作り	5歳児(19名)
11月	魚の観察	4歳児(19名)	おにぎり・みそ汁作り	3歳児(21名)
	ほうれん草と小松菜の観察	5歳児(18名)	食事のマナー	2歳児(16名)
12月	白菜ちぎり	1歳児(17名)	スプーン・フォークの持ち方	2歳児(12名)
	クリスマスケーキ作り	5歳児(13名)		
1月	正月料理のお話	4歳児(16名)	餅作り	5歳児(17名)
	七草のお話	5歳児(19名)	乾物の観察	3歳児(16名)
2月	ふりかけ作り	3歳児(19名)	バレンタインクッキー作り	5歳児(13名)
	ラップおにぎり作り	2歳児(18名)	地域の食材(油麩)の観察	4歳児(17名)
3月	野菜スタンプ	0歳児(5名)	パン作り	3歳児(18名)
	パン作り	5歳児(18名)	正しい箸の持ち方	2歳児(14名)
	パン作り	4歳児(19名)		

vi 避難訓練実績報告

実施日	設定	内容	避難場所	時間	参加人数
4月12日	地震(震度4)	避難	各保育室	10:00~	122名
5月9日	地震(震度4)	避難	園庭	10:10~	132名
6月4日	地震(震度4)	避難	園庭→鹿野3丁目公園	10:16~	125名
7月10日	火事 給食室より出火	避難	各保育室	11:20~	126名
7月19日	水害	避難	各クラス活動場所	10:30~	99名
7月26日	不審者	避難	つき組保育室・ホール	10:00~	120名
8月9日	Jアラート	避難	園舎内	10:00~	108名
9月6日	火事 近隣より出火	避難	つきぐみ保育室	18:20~	14名
10月10日	火事(総合)	避難・通報訓練	園庭	10:12~	129名
11月12日	地震(震度6)	避難	園庭→長町南小学校	10:00~	123名
12月4日	火事 近隣より出火	避難	ほしぐみ保育室	7:15~	8名
1月11日	火事 近隣より出火	避難	園庭	10:00~	13名
2月13日	地震(震度4)	避難	園庭	15:15~	109名
3月28日	火事 給食室より出火	避難	園庭	15:20~	111名

vii 職員配置

施設長	1名
主任保育士	1名
保育士	20名 (常勤:16名 非常勤:4名)
栄養士	1名 (常勤:1名)
看護師	1名 (常勤:1名)
嘱託医	1名
嘱託歯科医	1名

【榴岡なないろ保育園】

○事業報告概要

令和6年度は、適正な人員配置のもと、のびのびと心豊かで逞しく成長・発達することを支援し、保護者が安心して預けられるように、また一人ひとりの思いを大切に子ども達の「楽しい」気持ちに共感できるような関わり・保育を心掛けてきた。

行事等については、保護者の方々が子ども達の成長を感じられるように、また、満足していただけるようにと開催の仕方や内容を工夫しながら実施してきた。

I. 実施状況

i 保育事業

- 1) 通常保育事業（月～土 7時～18時実施） 定員56名（最大受入数66名）
- 2) 延長保育事業（月～金 18時～20時実施）

ii 給食部門

- 1) 食育活動
- 2) 衛生管理の徹底
- 3) アレルギー対応の徹底

iii 看護部門

- 1) 日々の健康管理
- 2) 歯科健康診査（年1回）、健康診断（年2回）
- 3) 保健だよりの作成
- 4) 必要に応じて保健指導（手洗い指導、歯磨き指導、からだのしくみ、プライベートゾーン等について）

iv 防災部門

- 1) 防災・避難訓練（毎月）
- 2) 不審者対応訓練（年2回）

▽年間行事

月	行事内容	活動内容
4月	☆入園式	新入園児を迎え、入園したことを祝う
	健康診断	心身の状態や発達の確認
5月	子どもの日会	制作したものを発表したり歌を歌ったりして成長を祝う
	☆保育参観・懇談会	3・4・5歳児対象（クラスごと活動内容を決めて親子で楽しむ）
6月	歯科健康診査	一人ひとりの歯の状態を確認
	☆保育参観・懇談会	0・1・2歳児対象（クラスごと活動内容を決めて親子で楽しむ）
7月	七夕会	各クラス短冊に願い事を書いて飾り、七夕の由来を知る
	プール・水遊び始まりの会	プールや水遊びをする際の約束事を確認し夏ならではの遊びを楽しむ
	☆夏祭り	親子で夏まつりを楽しむ（テーマを決めてテーマに沿ったコーナーや装飾を準備、以上児はクラス毎お神輿や旗神輿、纏などを作り歩く）
8月	水遊び・プール納め	夏の楽しかった思い出を振り返りながら最後のプールや水遊びを楽しむ
9月	敬老会	中野あおばの杜に5歳児が訪問し、利用者と触れ合い・交流をする
	☆運動会	生涯学習支援センター内体育館にて未満児・以上児2部制で行う
10月	バス遠足	錦が丘感性の森でアスレチックを楽しみ、昼食は近くの広場でお弁当を食べる
	サッカー教室	中田なないろ保育園でサッカー体験をし、たくさん体を動かす（4歳児）
	総合避難訓練	第一避難場所前の公園に避難する。消火器訓練をする
	ハロウィン	各クラス衣装やアイテムを身に付け、クイズやダンス、散歩に出かける等してハロウィンの雰囲気を楽しむ
11月	サッカー教室・芋ほり	中田なないろ保育園でサッカー体験をし、たくさん体を動かす芋ほり&交流を楽しむ（5歳児）
	交通安全教室	5歳児対象、講師を招き交通ルールについて学ぶ
12月	☆生活発表会	仙台駅東交流センターにてクラスごと入れ替え制で行う
	クリスマス会	未満児、以上児と時間帯、場所を分けて行う クイズや歌をうたい楽しんだ後にサンタ登場、クラスごとにプレゼントをもらう
1月	サッカー教室	中田なないろ保育園でサッカー体験、色々な技に挑戦する（5歳児）
	健康診断	心身の状態や発達の確認
	☆保護者懇談会	進級、就学に向けて話しや子ども達の成長を確認するとともに子育ての喜び、悩み等を共有する。懇談会後は子ども達と一緒におやつを食べて降園
2月	まめまき会	由来を知り、まめをまくことで自分の中の鬼を払う
3月	ひな祭り会	制作披露や歌を歌ったりして祝う 5歳児は成田山ひな祭り感謝祭に参加
	☆新入園児説明会	来年度入園する園児と保護者の不安がなくなるよう説明会を開く
	☆卒園式	園生活を振り返り、新たな門出を祝う
	お別れ会	卒園や退園する友だちに感謝の気持ちや応援の気持ちを伝える
	大きくなったお祝い会	成長した喜びを感じ祝う またできるようになったことを披露する

※身体測定、防災・避難訓練、誕生会（以上児、未満児に分かれて誕生児を祝う）は毎月実施 ☆は保護者参加型行事

※活動や行事等は、写真での掲示やブログ、インスタグラム等を活用し、子ども達の日常の様子が分かるようにしている

II. 施設運営管理

i 会議等

月	内 容	月	内 容
4月	定例会議（全体・未満児・以上児・リーダー）	10月	定例会議（全体・未満児・以上児・リーダー）
5月	定例会議（全体・未満児・以上児・リーダー）	11月	定例会議（全体・未満児・以上児・リーダー）
6月	定例会議（全体・未満児・以上児・リーダー・副担会）	12月	定例会議（全体・未満児・以上児・リーダー）
7月	定例会議（全体・未満児・以上児・リーダー）	1月	定例会議（全体・未満児・以上児・リーダー）
8月	定例会議（全体・未満児・以上児・リーダー）	2月	定例会議（全体・未満児・以上児・リーダー）
9月	定例会議（全体・未満児・以上児・リーダー）	3月	定例会議（全体・未満児・以上児・リーダー）

ii 研修等

1) OJT 研修

月	研 修 内 容	参加人数
4月	新年度の確認（保育方針や目標、児童の処遇、食育関連、安全対策、薬やフツ化物の取り扱い等）	全職員
	日誌や指導計画の書き方について	新入職員2名
5月	ケース会議	7名
	緊急時の対応について	18名
5・6月	AED講習	19名
6月	保護者支援・子育て支援について	14名
	安全対策について	14名
7月	エピソード会議①	17名
	ケース会議	6名
8月	保育経過記録の書き方	新入職員2名
	防犯講座	9名
	わらべうた	13名
9月	食の大切さについて～食べる動作、機能を培うために～	16名
	リズム体操	16名
	ケース会議について	6名
10月	嘔吐処理について	9名
11月	ケース会議	7名
	乳児保育について	8名
12月	エピソード会議②	15名
1月	運動遊びについて	10名
	ケース会議	6名
2月	次年度の計画	全職員
3月	児童の成長について	全職員
	ケース会議	6名

2) 外部研修

月	研修内容	人数	研修内容	人数
5月	民間主任保育士会	1名	看護職員連絡会	1名
	コーディネーター研修（初級）①	1名	就学前施設のリスクマネジメント	1名
	コーディネーター研修（初級）②	1名	初任保育士等研修Ⅰ	1名
6月	保育所（園）長研修Ⅰ	1名	乳児保育研修会Ⅱ	1名
	主任保育士研修会Ⅰ	1名	若手保育士向けカフェ「保育のひろば」	1名
	初任保育士等研修Ⅱ	1名	クレーム対応研修	1名
	アーチル・運営支援課合同基礎研修	1名	宮城野区給食施設関係者研修会	1名
	宮城野区保育士研修会	1名	コーディネーター研修（初級）③	1名
7月	仙台市保育所連合会 栄養士研修会	1名	キャリアアップ研修（保護者支援・子育て支援）	1名
	コーディネーター研修（初級）④	1名	特別支援保育研修会	1名

	初任保育士研修	1名	公開保育	1名
	キャリアアップ研修（乳児保育）	2名	幼保小合同研修	1名
	キャリアアップ研修（幼児教育）	1名	乳児保育士研修会Ⅱ	1名
8月	主任保育士研修会Ⅱ	1名	食物アレルギー研修	1名
	キャリアアップ研修（幼児教育）	1名	給食担当者研修会	1名
	キャリアアップ研修（乳児保育）	2名	給食関係者研修会	1名
	コーディネーター研修（初級）⑤	1名	キャリアアップ研修（保護者支援・子育て支援）	1名
	特別支援コーディネーター研修（フォローアップ）①	1名	主任保育士研修Ⅱ	1名
	宮城野区食育情報交換会	1名		
9月	仙台市保育所連合会保育士会 主任保育士会研修	1名	中堅保育士研修	1名
	コーディネーター研修（初級）⑥	1名	仙台市保育所連合会 保育所（園）長等研修会	1名
	保育所・認定こども園職員講習会（野菜づくり）	1名	宮城野区食育情報交換会	1名
	宮城野区保育士研修会	1名	連合会主催栄養士会研修	1名
	母子保健セミナー～母子をとりまく生活環境～	1名		
10月	保育所・保育園・認定こども園における災害対策研修	1名	主任保育士会研修	1名
	仙台市保育所連合会 職員研修講演会	1名	仙台市保育所連合会 保育所（園）長等研修会	1名
11月	すぎのこ教室	1名	キャリアアップ研修（保健衛生・安全対策）	1名
	中堅保育士研修	1名	コーディネーター研修（初級）⑦	1名
	キャリアアップ研修（幼児教育）	1名	初任保育所長等研修	1名
	仙台市キャリアアップ研修（幼児教育）①	1名	特別支援コーディネーター研修（フォローアップ）②	1名
	キャリアアップ研修（保護者支援・子育て支援）	1名		
12月	仙台市キャリアアップ研修（幼児教育）②③	1名	キャリアアップ研修（幼児教育）	2名
	看護師研修会	1名	キャリアアップ研修（保護者支援・子育て支援）	1名
	キャリアアップ研修（保健衛生・安全対策）	1名	コーディネーター研修（初級）⑧	1名
1月	中堅保育士研修	1名	キャリアアップ研修（幼児教育）	1名
	食物アレルギー研修	1名		

※外部研修…経験に応じた研修に参加することで、職員が学びや知識を深めることができた。また、研修で学んだことは会議や昼礼の時間を使って職員にも共有し保育に活かそうとする姿も見られていた。

※園内研修…経験年数に応じた内容や実践形式にする等他の職員の考えや意見等を、知る機会を設け、職員同士のコミュニケーションを図ることができた、今後も継続していく。

iii 事故件数

保育中の怪我による通院件数 … 3件

年齢	怪我の内容	対応
1歳児	クラス活動中転倒、打撲	整形外科受診
4歳児	鉄棒から落下、左肘を強打し骨折	形成外科受診
2歳児	給食後洗面台に口元をぶつけ口腔内負傷	歯科受診

上記について、再発防止に努め、新たな事故を起こさないように、施設整備・保育環境の見直しを行っていく。また、事故やヒヤリハットの結果を分析し、安心安全を第一に考えた保育環境整備に努めていくようにする。

iv 給食部門報告

【令和6年度の目標】

- ① 安全かつ衛生的で、食べることを楽しんでもらえる食事を提供する。
- ② 食育目標『楽しく食べる経験を深め、食を営む力の基礎を培う』を達成できるよう、1年後もしくは幼児期の終了までに獲得したい10の姿をみすえた見通しをもち、食育活動を実施する。特につながりのある食育活動になるよう重視する。

【目標達成のための取り組み】

- ① 安全かつ衛生的な食事提供については給食提供の要であり、毎年継続して目標としているところである。今年度は母体の健康を守るため業務内容の変更など配慮するにあたり、委託会社の人員体制が流動的で、他事業所から応援がくることも多くあった。そういった時も配膳時間の遅れやミスが起こることがないように、園側でも指示を丁寧に行う、チェック体制を強化するなどに対応した。ヒヤリハット発生時には、大きな事例につながる前にヒヤリハットの段階で原因や改善策を随時検討した。

食物アレルギーについては、園児の状況や対応を職員間で情報共有し、誰でも同様の対応が取れるよう周知した。また、咀嚼にまつわる給食事故が報道されたのを契機とし、咀嚼や食行動の発達について園内研修を実施し、安全な食形態や食事介助のありかたを職員で確認した。

食べることを楽しんでもらえる内容については、給食内容を凝ったものにすると思えばいいが、逆に見慣れないことで食べにくさも見られることや、そこに時間をかけるよりも安全な提供に努めたいという思いから、絵本給食の継続や食育活動から給食への意欲につなげるなどで目先を変えたり付加価値を付けたりすることで対応した。

- ② 従来月1回の給食会議を委託給食会社と園で実施していたが、今年度より園の給食会議も月1回実施することとした。今まで担任と栄養士間だけで共有していた食育活動の進め方や食にまつわる課題について、職員間で共有し話し合いを行うことができるようになった。園として子ども主体の保育を重視し、保育士と連携し子どもの姿やつぶやきを共有し活動内容に反映させてきたが、1年後もしくは幼児期の終了までに獲得したい10の姿をみすえた見通しをより深い共通理解のもと、つながりのある活動ができた。その成果として第19回食育コンテスト(NPO法人 幼年教育・子育て支援推進機構主催)で優秀賞の評価をいただいた。

また、R6年度は初めての試みを2つできた。1つ目は外部から生産者の方をお呼びして魚をさばき、簡単クッキングをして一緒に給食を食べる活動を取り入れたこと、2つ目は系列園と共同で芋ほり体験を行えた。日常の保育ではできない活動も織り交ぜながら、次年度も活動を計画していきたい。

【食育活動実績】

月	食育内容	対象	食育内容	対象
5月	おにぎりをにぎろう	4歳児	栽培活動(なす)	3歳児
	お弁当につめよう	5歳児	種まき(枝豆・じゃがいも)	4歳児
			苗植え(おくら・ひまわり)	5歳児
6月	ばんばん持ちであじさいゼリー	3歳児	枝豆の収穫	4歳児
	お弁当につめよう～配膳の練習～	4歳児	たまごの不思議 フレンチトースト作り	5歳児
7月	絵本給食：サンドイッチをつくらう	4.5歳児	おくらの収穫/野菜スタンプ	5歳児
	大豆への変身の観察	4歳児	おくらの収穫/おかか和え作り	5歳児
	枝豆の収穫/ずんだサンド作り	4歳児		

8月	夏野菜と仲良くなろう 塩昆布和え作り	1歳児	大豆のへんしん① 豆腐作り/おからドーナツ作り	4歳児
	夏野菜と仲良くなろう とうもろこしの皮むきと野菜スタンプ	2歳児	包丁の練習 フルーツポンチ作り	5歳児
	おはしを始めよう	3歳児	クッキー作り	5歳児
	じゃがいもの収穫	4歳児		
9月	絵本給食：いもほりごっこ	1歳児	そばろ作りの見学	5歳児
	ばんばん持ちの練習をしよう	2歳児	3色食品群ってなあに？	5歳児
	収穫したじゃがいもでポテトサラダ作り	4歳児		
10月	まほうのわくわくおにぎり① ウインナーコーンおにぎり	3歳児	防災の日 備蓄の大切さとα米の試食	5歳児
	なすのピザ風焼き作り	3歳児	お米を炊飯しよう	5歳児
	お弁当につめよう	4歳児	命をいただく 魚をさばくのを見る/ホイル焼き作り	5歳児
11月	きのこと仲良くなろう	1歳児	計量してみよう ～計量記念日～	5歳児
	まほうのわくわくおにぎり② ツナとピーマンの仲良しおにぎり	3歳児	芋ほり/中田なないろ保育園と合同	5歳児
	なすの収穫/なすの色イロ実験	3歳児	収穫したさつまいもを計量してみよう	5歳児
	しいたけの栽培	3歳児	収穫したさつまいもでスイートポテト作り	5歳児
	しいたけの収穫	3歳児	フルーツパフェ作り	5歳児
12月	ばんばん持ちでフルーツヨーグルト作り	2歳児	クリスマスクッキー作り①	4歳児
	みかんの足湯 ～冬至～	2歳児	ポテトサラダツリー作り	5歳児
	お正月をむかえよう～干支と鏡もち作り～	3歳児		
1月	冬野菜と仲良くなろう	0歳児	クッキー作り	3歳児
	冬野菜と仲良くなろう	1歳児	大豆のへんしん② みそ作り	4歳児
	絵本給食：おおきなかぶごっこ	2歳児	給食チャレンジ！①小学校の給食って？ ②パック牛乳を飲んでたたもう 骨付き魚を食べよう	5歳児
	春の七草ってなあに？	3歳児		
2月	きのこと仲良くなろう	0歳児	まほうのわくわくおにぎり③	3歳児
	ふりふりおにぎり作り	1歳児	食事のマナーって？	3歳児
	お味噌汁をつくろう	2歳児	給食チャレンジ！①個包装の食パンとジャムを食べよう ②パック牛乳を飲んでたたもう	5歳児
	しいたけの収穫	3歳児	栄養満点スープのレシピを作ろう	5歳児
3月	乾物の不思議	1歳児	クッキー作り②	4歳児
	もみもみスムージー作り	1歳児	大豆のへんしん③ 手作りみそでお味噌汁作り	4歳児
	絵本給食：ねこさんスパゲティ	2歳児	卒園クッキング：栄養満点スープ作り	5歳児
	まぜまぜツナマヨサンド作り	2歳児		

【今年度の反省と次年度の課題】

毎年食育活動を行っていく中で各年齢で必要と思われる活動として、恒例となる活動が増えてきた。その中でも前回の反省から細かいところを修正したり、その年のクラスに合わせて難易度の調整や興味をひく教材の準備など細かい内容を変更したり、新たなアイデアを得てブラッシュアップさせるなど、継続と園生活全体での流れを重視するようにした。繰り返しの活動も成長がみられいい取り組みだったため、次年度も継続していく。

昨年度系列栄養士会が発足したことを契機に、今年度系列園での交流食育活動(芋ほり)を実施できた。しかし、異年齢でのクッキングは今年度実現できなかったため来年度実施したい。その代わりに4・5歳児でそれぞれクッキングした汁物を食べてもらう機会を作ることができた。「おいしかった気持ちをお手紙にしたい」「お手紙をもらってうれしかったから、私たちもありがとうの手紙を送

りたい」と子どもたちから自然と声が上がった。食べてもらいたい気持ち・食べて喜んでもらううれしい気持ち、作り手への感謝の気持ち・憧れの気持ちなどを育むことができたため、次年度もそのような機会を作りたい。

そして、昨年度の反省で食の土台づくりには3歳未満児へのアプローチが大事だと考え、従来よりも3歳未満児対象の活動を早期から取り組みたいという反省があったが、昨年度と同時期の開始となった。次年度の課題とする。

また、園内給食会議を開催するようになり、姿勢・食具の持ち方・食べこぼしなどの食事の課題がより明確に共有されるようになった。それらは日々の保育において培われたからだの発達が土台にあってじょじょに出来るようになっていくと、子どもたちを見て実感する場面が多くあった。

継続的な日常の支援は保育士の力が必要不可欠であるため、からだの発達プロセスやそれを育むための遊びについて、研修で学んだことを全職員で共通理解を図るために次年度園内研修で早い時期に伝達できるようにしたい。

▽防災・避難訓練実施

《避難・消火訓練》

◎消火訓練は毎月実施

月	日 (曜日)	訓練のねらい	時間	想定	避難経路・集結場所	参加人数	
						園児	職員(給食室)
4月	17 (火)	避難訓練の重要性を知る 揺れを感じ安全な場所に集まり、静かに放送を聞く	10時00分	地震	保育士の側に集まる 落下物の恐れのない安全な場所へ避難	55名	15(3)名
5月	23 (火)	火災の違いで、避難の仕方が変わることを知る 火災避難時の約束事を知る	10時12分	火災 (給食室)	くりおね→玄関→園駐車場、 他クラス→園駐車場	58名	15(3)名
6月	12 (水)	仙台市主催のシェイクアウト訓練に参加	9時45分	地震	各保育室	56名	12(3)名
	18 (水)	地震による災害から身を守る	10時46分	地震	各保育室	57名	15(3)名
7月	17 (水)	浸水害時の避難方法、避難場所が変わることを知る	10時45分	水害	浸水害計画に基づき、保育士の指示に従い園内階段より 遊戯室へ避難	53名	16(3)名
	23 (水)	突然の事態になっても慌てずに保育士の指示に従い、避難する	11時45分	地震	各保育室	51名	16(3)名
8月	20 (火)	火災場所の違いにより、避難方法が変わることを知り、落ち着いて避難する【自由遊び時間帯】	15時50分	火災 (近隣火災)	近隣(東側)から発生 くりおねぐみは玄関より、他クラスは非常階段より、園左側駐車場へ避難	52名	15(3)名
9月	17 (火)	活動先、散歩先での状況に応じた避難の仕方を知る【塩害対応訓練】	10時25分	地震	建物の倒壊、落下物の恐れのない安全な場所に誘導。その後その場に近い安全な場所へ移動するとともに、避難先を連絡する	57名	11(4)名
10月	23 (火)	状況に応じた避難方法を知る 火災場所の違いにより、避難方法、避難場所が変わることを知る 実際の消火及び通報の訓練【総合避難訓練】	9時45分	地震からの火災	各クラス非常階段または玄関より園駐車場へ避難し、3クラス程度集まったら榴岡小学校前の降園へ避難	59名	13(3)名

11月	19(火)	担任以外の指示に従い延長保育時の避難の仕方を知る【延長保育時間帯】	19時00分	地震	延長保育時、地震発生の放送。安全な場所に子ども達を集める。その後落下物の恐れのない安全な場所へ避難	2名	4(0)名
12月	17(火)	保育士の指示に従い朝の登園時、合同保育時の避難の仕方を知る【朝の合同保育時間帯】	7時30分	地震	朝の登園時、地震発生の放送。落下物の恐れのない安全な場所へ子ども達を集める	4名	3(0)名
1月	22(水)	火災場所の違いにより、避難方法が変わることを知る	16時05分	火災(近隣火災)	近隣から発生 くりおねは玄関より園駐車場へ、他クラスは園内の階段を下りて園駐車場へ避難	50名	12(2)名
2月	18(火)	これまでの避難訓練を振り返り、自然災害の危険性を知る 保育士の指示に従い、落ち着いて避難する	予告なし(午前中)	地震 火災	日頃の訓練を活かし、どこにいても速やかに子どもを把握し、安全に避難 非常階段または玄関から玄関に避難	58名	13(3)名
3月	11(月)	色々な時間帯の避難訓練をする 避難行動を各自しっかりと身につける	14時35分	地震	地震発生の放送後、安全な場所へ避難 黙祷をする ◎防災備蓄品、防災用品の確認	51名	17(3)名

○一年間を通して、訓練の必要性や災害の違いによって避難の仕方が変わること等を、分かりやすく子ども達に伝えている。

※時間帯については上記時間帯を目安としながらも予告なしに実施することもあった。

どんな時も落ち着いて対応できるように日頃から役割分担を明確にし、避難、誘導にあたるように心がけている。

《不審者侵入訓練実施》

月	日(曜日)	訓練のねらい	時間	想定	避難経路 集結場所	参加人数	
						園児	職員(給食室)
8月	7(金)	・不審者が侵入した際は、保育士が適切な対応をできるようにする。また、子ども達は保育士の指示の元、落ち着いて避難する	10時00分	保護者と共に玄関から侵入	園内放送と共に子ども達を速やかに死角となる場所へ誘導、避難	53名	15(3)名
1月	28(火)	・第一発見地点で不審者を引き止め侵入を防ぐ。(インターホンでのやりとりの練習)	16時00分	お迎えの保護者を装い中に入ろうとする	不審者に気づき、放送で職員に知らせる。 放送を聞いて保育士は速やかに子ども達を死角となる場所に誘導	54名	10(2)名

vi職員配置

施設長	1名
主任保育士	1名(6月~10月までは2名体制)
保育士	15名(常勤:13名 非常勤:2名)
栄養士	1名(常勤:1名)
看護師	2名(非常勤:2名)
嘱託医	1名
嘱託歯科医	1名

【中田なないろ保育園】

○事業報告概要

令和6年度は、適正な人員配置のもと、のびのびとこころ豊かな人間に成長・発達することを目指し、保護者が安心して預けられるように、一人一人の思いを受け止め、丁寧な保育を職員全員で心がけた。

新型コロナウイルス感染症は5類となり、行事は感染に留意した上で保護者参加の行事を行い、子ども達にも保護者にも満足できる内容を考え実施した。

I. 実施状況

i 保育事業

- 1) 通常保育事業（月～土 7時15分～18時15分実施）定員100名
（最大受入数120名）
- 2) 延長保育事業（月～土 18時15分～20時15分実施）
- 3) 一時預かり保育事業（月～土 7時15分～18時15分実施）
- 4) 休日保育事業（日、祝日 7時15分～18時15分実施）

ii 給食部門

- 1) 食育活動
- 2) 衛生管理の徹底
- 3) アレルギー対応の徹底

iii 看護部門

- 1) 日々の健康管理および健康指導
- 2) 健康診断、歯科健康診査
- 3) 保健だより作成

iv 防災部門

- 1) 防災・避難訓練（毎月）
- 2) 不審者対応訓練（年2回）

▽年間行事予定

月	行事内	活 動 内 容	参加クラス等
4月	入園式・進級式	入園，進級を祝い、喜び合う	新入園児親子 進級児
	健康診断	健康診断	全園児
5月	子どもの日お祝い会	各クラスで制作をしたり歌を歌ったりして祝う	全園児
	わらべうたの会	外部講師とわらべうたを楽しむ	3歳未満児
	保育参観・懇談会	参観を通して園の様子や生活、活動を知ってもらう	3歳以上児
	いのちの粘土だんご	部講師と環境について学ぶ	つき組
	懇談会	懇談会を通して保護者と保育士が情報を共有や意見交換をする	3歳未満児
6月	保育参観・懇談会	参観を通して園の様子や生活、活動を知ってもらう	3歳以上児
	懇談会	懇談会を通して保護者と保育士が情報共有や意見交換をする	3歳未満児
	水遊び始まりの会	水遊びの約束を通して安全に水遊びを楽しめるようにする	全園児
	いのちの粘土だんご	外部講師と環境について学ぶ	ほし組 なのはな組
7月	七夕会	七夕の由来を聞いたり、短冊を書いたり歌ったりする	全園児
	夏まつり会	夏を元気に過ごせるよう、お神輿、すすめ踊り、出店等でお祭りの雰囲気を楽しむ	全園児
	歯科健康診査	歯科健康診査	全園児
8月	水遊び終わりの会	安全に楽しんだことを伝え合い、水遊びの遊具を片付ける	全園児
	誕生会	各クラスで誕生児を祝う	全園児
9月	お月見会	月の満ち欠けの不思議さや、豊作を喜び合う	全園児
10月	運動会	3歳未満児、3歳以上児2部式で行う かけっこ等4月から取り組んだ運動遊びの発表をする	全園児
	サッカー教室	外部講師をよんで、サッカーを楽しむ	4歳児 5歳児
	健康診断	健康診断	全園児
	わらべうたの会	外部講師とわらべうたを楽しむ	3歳未満児
11月	芋ほり交流	榴岡なないろ保育園の5歳児と一緒に芋ほりをすることで交流につなげる	5歳児
	親子遠足	バスで八木山動物公園に行き、自然の中で開放感や公共の場でのルールを学ぶ	3歳以上児 保護者
	サッカー教室	外部講師をよんで、サッカーを楽しむ	3歳児 4歳児
	プレ発表会	4月から取り組んだ、表現遊びを発表する	全園児
	発表会	3歳未満児、3歳以上児2部式で行う 4月から取り組んだ、表現遊びを発表する	全園児
12月	わらべうたの会	外部講師とわらべうたを楽しむ	3歳未満児
	もちつき会	由来を聞いたり、うすや杵、餅に触ってみる	全園児
1月	保育参観・懇談会	懇談会を通して保護者と保育士が情報を共有や意見交換をする 参観を通して園の様子や生活、活動を知ってもらう	全クラス
	サッカー教室	外部講師をよんで、サッカーを楽しむ	3歳児 5歳児
2月	豆まき会	豆まきの由来を聞いたり、鬼の面を作ったりする	全園児

	ごっこ遊び	お店の人になりきって、品物を作ったりやりとりを楽しむ	全園児
	ひなまつり会	ひなまつりの由来を聞いたり、お雛様を作ったり、歌ったり踊ったりする	全園児
3月	お別れ会	卒園児をお祝いする	全園児
	修了・卒園お祝い会	各年齢の修了をお祝いする	全園児
	卒園式	成長を喜び合う	卒園児親子

※誕生会は、誕生日に誕生児をお祝いする ※避難訓練は毎月実施

※身体測定は、0歳児は毎月、1歳児以上は隔月実施

※保育の様子は送迎時に口頭で伝えると共に、連絡ノートの交換や毎月の保育・今日の保育を掲示している また、写真を通して活動の様子がより伝わりやすいようにしている

II. 施設運営管理

i 会議等

月	内容	月	内容
4月	定例会議（全体・未満児・以上児）	10月	定例会議（全体・未満児・以上児）
5月	定例会議（全体・未満児・以上児）	11月	定例会議（全体・未満児・以上児）
6月	定例会議（全体・未満児・以上児）	12月	定例会議（全体・未満児・以上児）
7月	定例会議（全体・未満児・以上児）	1月	定例会議（全体・未満児・以上児）
8月	定例会議（全体・未満児・以上児）	2月	定例会議（全体・未満児・以上児）
9月	定例会議（全体・未満児・以上児）	3月	定例会議（全体・未満児・以上児）

ii 研修等

（園内研修）

月	研修名	研修内容	参加人数
4月	新年度の確認事項	・管理運営要綱、保育目標の確認、個人情報取り扱い ・秘密保持、救命講習、人権擁護・虐待など	28名
5月	記録の書き方①	・日誌・連絡帳・今月の保育・今週の保育	10名
6月	マニュアル確認	・衛生マニュアル、安全マニュアル	12名
	遊び、活動計画①	・各年齢に考慮した遊びの計画	12名
7月	記録の書き方②	・養護と教育が一体になった保育	18名
	特別支援保育について	・理解と支援について	15名
10月	前期の振り返り	・各クラスの取り組みを振り返る	25名
11月	遊び、活動計画②	・各年齢に考慮した遊びの計画	16名
	救命講習	・「心肺蘇生法」「AED」の使用方法	22名
12月	食育について	・食育目標からの食育活動の内容、食育について	25名

1月	事故・ヒヤリハット	・事故・ヒヤリハットの集計より	25名
2月	後期の振り返り	・後期を振り返り、各クラスでの取り組みの反省 ・1年のまとめ	25名
3月	次年度の計画	・行事や活動の計画	25名

(外部研修)

月	研修内容	参加人数
5月	特別支援コーディネーター研修(初級)①	1名
	特別支援コーディネーター研修(初級)②	1名
6月	特別支援コーディネーター研修(初級)③	1名
	看護職員連絡会	1名
	園長研修	1名
	初任者研修	1名
7月	乳児保育研修	1名
	みやぎ保育カフェ	2名
	栄養士研修	1名
	乳児保育研修	1名
	特別支援保育研修	1名
	特別支援コーディネーター研修(初級)④	1名
8月	中堅保育士研修	1名
	主任保育士研修	1名
9月	特別支援コーディネーター研修(初級)⑤	1名
	別支援コーディネーター研修(初級)⑥	1名
10月	園長研修	1名
11月	主任保育士会	1名
12月	特別支援コーディネーター研修(初級)⑦	1名
	幼児保育研修(キャリアアップ)①	1名
	幼児教育研修(キャリアアップ研修)②③	1名
	キャリアアップ研修(幼児教育)	2名
	キャリアアップ研修(乳児保育)	9名
	キャリアアップ研修(障害児保育)	5名
1月	キャリアアップ研修(マネジメント)	5名
	キャリアアップ研修(保護者支援)	3名
1月	特別支援コーディネーター研修(初級)⑧	1名

iii 施設見学・職場体験・実習生の受け入れ

受け入れ期間	学校名	目的	受け入れ人数
5月27日～6月8日	中田小学校(街探検)	職場体験	8名
6月24日～7月6日	東北生活文化大学	実習1	1名
7月8日～7月19日	東北生活文化大学	実習2	1名
7月29日～8月9日	聖和学園短期大学	実習1	1名
8月26日～9月10日	聖和学園短期大学	実習2	1名
8月26日～9月10日	東京成徳短期大学	実習2	1名
2月10日～2月15日	仙台こども専門学校	実習1	1名

iv 事故件数

保育中の怪我による通院件数…4 件

年 齢	怪我の内容	対 応
5 歳児	玄関の自動ドアを出てフェンスの戸口を出る時、勢いよく開けようとしたが反動で兵椅子の戸があたまにぶつかり切創	整形外科受診
5 歳児	保護者が迎えに来ていた部屋でぐるぐる回っていて、そばにいた児にぶつかり棚に頭をぶつけた 切創	整形外科受診
0 歳児	棚につかまり立ちしていて、手が外れて棚に口をぶつけた 上唇小帯切創	歯科受診
1 歳児	立ち上がらせようと腕をとったところ、肘が向けた	整形外科受診

上記について、同じ事故を起こさぬよう、また新たな事故を起こさぬように、施設整備・保育環境の見直しを行いながら、職員一人一人が、安心安全の保育環境整備に努める

V 給食部門報告

【令和 6 年度の目標】

食育目標：楽しく食べる体験を深め、「食を営む力」の基礎を培う

安全・衛生的で、園児にとって毎日の楽しみとなる食事提供を目指す。

日々の食事を中心とした食育活動の中で、食に興味を持てる環境を作り、食への関心・意欲を高め、食を楽しむことができるようにする。

【概要】

① 安全で衛生的な食事提供

厨房業務の管理を行う。

個別配慮の対応（アレルギー児・離乳食・その他随時）においては、保護者への聞き取りを行い、保育士・看護師・栄養士で必要に応じて話し合い、情報の共有と周知を行う。

② 素材の味を活かした薄味を心がけ、季節の食材を積極的に取り入れた給食提供を行う。

また、咀嚼・嚥下機能など年齢に合わせた材料の切り方や硬さに調理する。残食・嗜好調査、給食巡回を通して検討を行う。

③ 調理活動においては、子どもたちが食に興味・関心をもてる活動を検討し、実施する。

安全面を考慮しながら、様々な食体験を通して食への興味・関心を高める。

【実施内容】

・栄養管理

偶数月の身体計測値をカウプ指数・成長曲線で評価。肥満・やせを把握し、担任・看護師と共有した。経過を観察し、必要時には働きかけを行った。

年 2 回、身体計測値及び食事摂取基準をもとに、3 歳未満児と 3 歳以上児で給与栄養目標量を設定し、献立作成の基準とした。

・安全な食事提供

アレルギー児・離乳期の食事提供は個別のトレイを作成し、保育士・栄養士または調理

員必ず2名以上で確認を行ってからの提供を徹底した。

離乳期の食事は保護者・担任と情報共有し、個々の発達に合わせた調理を行った。

食材の納入・検品時には不備や傷みがないかを丁寧に確認し、発見した場合には各業者に連絡をし、交換・返品するなどの対応を行った。

給食従事者は体調管理を徹底し、軟便や下痢症状のある場合は給食室への立ち入りをしないなど、下処理～配膳まで、徹底した衛生管理のもと作業した。

・調理活動

旬の食材を積極的に取り入れ、季節の野菜や果物、魚を味わいながら、話題にして楽しめる献立作成をおこなった。

調理活動では、食への関心・意欲を高めることができるよう、子どもたちが興味をもっていることなどを担任と情報共有しながら活動内容を検討し、実行した。食材に触れる活動や、栽培活動を取り入れ、実施後は活動が年齢にあったか、活動に興味を持っていたかなど、子どもたちの様子をふまえて反省・評価を行った。



図 1. 稲の栽培

これがごはんになるの？



図 2. ウィナーパン

袋の中で粉を混ぜてふったらパンになっちゃった



図 3. うどん

かわりばんこに歌に合わせて足で踏んだらうどんになったよ

・行事食

日本の年中行事に関連した行事食を中心に、献立へ取り入れた。また、行事食に関する由来などは給食だよりに記載し、家庭でも話題にできるようにした。もちつき・鏡餅づくりや恵方巻きなど、実際に体験することで楽しみながら興味を深められるようにした。



こいのぼりハンバーグ



天の川ゼリー



もちつき

・喫食状況の把握

担任から喫食状況を聞き、食材の大きさやメニューの組み合わせを検討した。

【今後の課題】

- ・安全で衛生的な食事提供の継続
- ・食育活動の充実
- ・個別配慮児の周知徹底

vi避難・防災年間計画

月	日(曜日)	訓練のねらい	訓練方法		配慮・避難経路	参加人数	
						園児	職員
4月	18(木)	非常ベルの音を知る 保育士のそばに集まる	10時00分	近隣火災	非常ベルを鳴らす前に音が鳴ることを知らせる	105名	25名
5月	14(火)	火災の避 (火難の仕方を知る)	9時50分	近隣火災	非常ベルを鳴らす前に「避難訓練」であることを伝える ベルが鳴ったらどう動くかを伝える ※クラス帽子を被り上履きのまま園庭避難 ※人数報告	89名	22名
	21(水)	Jアラートの避難訓練	9時50分	Jアラート発令	保育士のそばに集合	93名	22名
6月	12(水)	〈移動訓練〉 地震の避難の仕方を知る 中田小学校へ避難の仕方を知る ※宮城県沖地震	9時45分	地震 (震度4)	保育士のそばに集合 1F:テラス→外→園庭 2F:非常階段→外→園庭	90名	22名
7月	25(木)	浸水避難訓練	10時15分	浸水警報	保育士の指示の元、2階へ避難する 垂直避難	90名	26名
	31(水)	不審者対応避難訓練を知る	13時45分	不審者対応訓練	職員机上訓練	-	25名
8月	9(水)	合同保育時間の避難の仕方を知る (早朝保育時間)	7時20分	地震	保育士のそばに集合 (室内の安全な場所) 各保育室→保育室出入口	3名	2名
9月	12(木)	〈総合避難訓練〉 通報訓練 避難訓練 職員消火訓練 視聴覚教材視聴 消防自動車見学	9時50分	総合避難訓練	保育士のそばに集合 安全な場所へ移動	90名	26名
	13(木)	竜巻の避難の仕方を知る	16時30分	竜巻	保育士のそばに集合 保育室の内側に避難	95名	22名
10月	16(水)	合同保育時間の避難の仕方を知る 夜間避難訓練	19時20分	近隣火災	保育士のそばに集合 保育室出入口	0名	2名
	25(金)	合図を聞いて避難する	9時45分	不審者対応訓練 アルソック職員立合い	保育士のそばに集合 1F:各クラス→遊戯室 2F:各クラス→遊戯室	92名	26名
11月	9(土)	近くの保育士のもとに集まって指示を聞き、落ち着いて避難する	16時30分	地震	保育士のそばに集合 安全な場所へ	6名	4名
12月	14(火)	合同保育時間の避難の仕方を知る	8時45分	地震	保育士のそばに集合 安全な場所へ移動	5名	3名

1月	21(火)	どこで遊んでいても保育士のそばに集まり避難する	18時30分	地震	保育士のそばに集合 安全な場所へ	4名	2名
2月	17(月)	どこで遊んでいても保育士のそばに集まり避難する	11時10分	地震 火災	保育士のそばに集合 安全な場所へ	89名	28名
3月	11(火)	どこで遊んでいても保育士のそばに集まり避難する ※東日本大震災	11時10分	地震	保育士のそばに集合 安全な場所へ	93名	25名

非常時・緊急時の対策

・保育中に子どもの健康状態の急変、その他緊急事態が生じた時は、子どもの保護者が予め指定した緊急連絡先に連絡する。また、嘱託医または子どもの主治医に相談する等措置を講じる。

保護者と連絡が取れない場合は乳幼児の身体の安全を最優先させ、責任を持って然るべき対処を行う。

- ・保育園周辺で緊急事態が発生した場合は、ご家庭へお迎えの依頼を行う。
- ・電話がマヒ状態になり連絡が取れない場合は、以下の方法で連絡する。

【災害時の連絡方法】

- ・災害ダイヤル『171』へ保育園の情報や保護者の方へ伝言の録音を行う。
- ・公衆電話の活用（中田市民センターの脇）

vii職員配置

施設長	1名
主任保育士	1名
保育士	28名（常勤：24名 非常勤：4名）
栄養士	3名
調理員	1名（非常勤：1名）
看護師	1名（常勤：1名）
嘱託医	1名
嘱託歯科医	1名